

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書の
採択に関する調査研究報告書

浜田地区教科用図書採択協議会調査員会

各発行者記号は次のとおりである。

記号	発行者名	発行者略称
A	東京書籍株式会社	東 書
B	大日本図書株式会社	大日本
C	開隆堂出版株式会社	開隆堂
D	学校図書株式会社	学 図
E	株式会社三省堂	三省堂
F	教育出版株式会社	教 出
G	一般社団法人信州教育出版社	信 教
H	株式会社教育芸術社	教 芸
I	光村図書出版株式会社	光 村
J	株式会社帝国書院	帝 国

記号	発行者名	発行者略称
K	株式会社新興出版社啓林館	啓林館
L	日本文教出版株式会社	日 文
M	株式会社文教社	文教社
N	株式会社光文書院	光 文
O	株式会社Gakken	学 研
P	廣濟堂あかつき株式会社	廣あかつき
Q	株式会社大修館書店	大修館

選 定 に 必 要 な 資 料

国語 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
A	<p>○1年では、スタートカリキュラム対応として、巻頭の教材において文字やページ数が大きく示されている。(1年上p.1～)</p> <p>また、声に出すのと一緒に体もつかって理解を促すよう工夫されている。(1年上p.58)</p> <p>○5、6年生では、中学校への移行を考慮し、また既習事項の確認をしやすいように上下巻まとめて1冊となっている。</p>	<p>○国語と他の教科や日常生活とのつながりのある教材、多様なテーマに対応した教材が選ばれている。6年「インターネット」「SDGs」5年「インターネット」「新聞記事」「文化」「地域の魅力」4年「広告」「手紙」3年「給食だより」「道具」</p> <p>○説明文の学習の次にそれをふまえて意見文を書く(5年p.214、p.230)等、単元のつながりが工夫されている。</p>	<p>○写真と文章をうまく組み合わせ、わかりやすいレイアウトになっている。</p> <p>○大切なポイントや考えの例にキャラクターが使用されている。5年p.5)</p> <p>○地、児童の関心を引く工夫がされている。(5年p.5)</p>	<p>○「言葉の力」として、単元で育成したい資質・能力がわかりやすく明示しており、意識しながら学習することができる。(5年p.30)</p> <p>○高学年では、資料との関連を意識した教材を多く掲載し、複数の情報から自分の考えを形成していく単元がある。(5年p.214、6年p.152)</p>	<p>○「こんな本も一緒に」として多種多様な本の紹介がしてあり、読書の幅を広げる工夫がされている。(5年p.54)</p> <p>○「漢字を使おう」として、前学年で学習した漢字を使って文章を書く内容があり、漢字を復習することができるようになってきている。(3年上p.29)</p>	<p>○巻頭の詩や「季節の足音」等、豊かな言語感覚を培う内容が設けられている。</p> <p>○2年生以上には、単元の初めに「見通す」「取り組む」「ふり返る」の3段階で「学習の流れ」が示されている。(2年上p.39)</p> <p>○2次元コードが示してあり、振り返りや関連教材、音声教材等のデジタル資料を活用できるようになっており、学習意欲の喚起や学習を深めることができる。</p>
	<p>6, その他</p> <p>○上巻の最初に「国語の学習の進め方」「国語のノートの作り方」のページがあり、参考にすることができる。</p>					
F	<p>○1年生のスタートに文字がなく、ひらがなの読めない児童でも抵抗なく学習に取り組むことができるように配慮がしてある。1年上「くまさんとありさんのごあいさつ」で文字の大きさに違いがあり、声の大きさのイメージがしやすい。(1年上p.28)</p> <p>○全学年上下巻に分かれており、「軽い」「持ちやすい」「広げやすい」ことに長けている。</p>	<p>○「ごじゅうおんひょう」では色調とバランスだけでなく、形でも区別しやすいよう配慮されている。(1年上p.40)</p> <p>○学習したことや体験したことを活用する単元構成となっている。(3年上p.45、3年下p.22)</p> <p>《話し合う》「パネルディスカッション」「ダイベート」「書く》「手紙」「ポスター」「パンフレット」等</p>	<p>○配色や図表、イラスト、写真等挿絵や写真が色彩豊かに効果的に使われていて、児童が興味をもって学習に取り組むための工夫がされている。</p> <p>○新しい五千円札の「津田梅子」の伝記(6年下p.95)「まんがの方法」(5年下p.89)等児童の身の回りにある興味関心を引く教材が選択されている。</p>	<p>○単元末に「ここが大事」として教材の重点指導事項がポイントとしてまとめられている。(3年上p.31)</p> <p>○国語で学習したことを他の教科で生かすだけでなく、他の教科で学んだことを国語に生かす単元が設定されている。『町の「すてき」をつたえます』(2年上p.120)「はじめて知った学校のこと」(1年下p.106)</p>	<p>○「ひろがる読書の世界」で本を紹介したり、「読書の広場」(5年下p.66)で読書活動を紹介したりして、読書への意欲喚起となっている。</p> <p>○6年上「なぜ、わかり合えなかったのかな？」でSNSとの関わりについて考える教材がある。(6年上p.108)</p>	<p>○巻頭の「○年生で学ぶこと」では、何を学び、どのような言葉の力が身につくのか系統的に示されている。(3年上p.4)</p> <p>○「見通しをもとう」において、国語の指導事項に沿った学習の進め方と振り返りの観点がわかりやすく示されている。(3年上p.28)</p> <p>○2次元コード「まなびリンク」が示してあり、デジタル資料が活用できる。</p>
	<p>6, その他</p> <p>○SDGsのマークが示されている。</p>					

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
I	<p>○1年では「ことばのたいそう」により、みんなで声を出して読むことやコミュニケーションの楽しさを感じながら、音読、対話の力が身につけられるよう工夫されている。(1年上p.24、p.96)</p> <p>○5・6年生では、中学校への移行を考慮し、また既習事項の確認をしやすいよう上下巻まとめて1冊となっている。</p>	<p>○説明文では「練習」をしたり、教材の後に「情報」や「資料」「コラム」等が設定されていたりする等、学んだことの活用や深く学ぶことができるような工夫がされている。(5年p.51、6年p.111)</p> <p>○「みの回りのものを読もう」(2年上p.118)や「ポスターを読もう」(3年上p.124)では、看板やポスターを取り上げ、生活の中にある情報の伝え方を扱っている。</p>	<p>○単元冒頭に「問いをもとう」の欄があり、児童に課題を考えさせることで、児童の学習意欲を引き出せるようになっていく。(5年p.60)</p> <p>○SFやミステリー、友達関係や外国人作者の物語等、多様なジャンルの作品(説明文、物語文)が登場しており、児童の興味関心を引く工夫をしている。</p>	<p>○単元末に「たいせつ」として教材の重点指導事項がポイントとしてまとめられている。(4年上p.64)</p> <p>○領域の学びに系統性があり、特に「読むこと」については1学期→2学期→3学期と、段階を踏んでステップアップできるようにになっている。(6年p.14)</p>	<p>○「本はともだち」として、読書に興味をもち、読み進めることができるような工夫がされている。(5年p.88)</p> <p>○「漢字の広場」では、テーマに沿って漢字を使った文章を考える内容になっていて、学習したことを活用できるよう工夫されている。(4年上p.70)</p>	<p>○挿絵には、車いすの子や外国人の子等も描かれており、多様性を意識している。(1年上巻頭～)</p> <p>○「問いをもとう」「目標」そして、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」の学習の流れを示している。(5年p.60)</p> <p>○2次元コードにより、前学年までに学んだ言葉を振り返ることができる資料等があり、自学でも活用できる。</p>
	<p>6, その他</p> <p>○2年以上の上巻巻頭に「ことばのじゅんびうんどう」が掲載されており、学級づくり、仲間づくりにつながる内容が取り上げられている。</p>					

選 定 に 必 要 な 資 料

書写 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
A	<p>○擬音「とん、すう、びた」で毛筆を書くときに気をつけることが表現され、指導しやすい。(全学年)</p> <p>○分量が適量である。</p> <p>○ふりかえりが記入できる。(全学年)</p> <p>○練習帳等を購入しなくてもしっかりと練習ができる。(低学年)</p>	<p>○「書写の学び方」で学習展開がよくわかる。(全学年)</p> <p>○巻末「書写のかぎ」が全学年あり、学ぶべき項目や学んだ項目を確認し、振り返ることができてよい。(全学年)</p> <p>○児童同士が対話できるようになっている。(全学年)</p>	<p>○墨、硯、半紙のでき方についての動画があって、わかりやすい。(3年p18)</p> <p>○島根県浜田市の石州半紙が取り上げてありよい。(3年p18)</p> <p>○イラストにより、穂先の向きに注目した筆使いがわかりやすい。(3・4・5・6年)</p>	<p>○「書写体操」は、身体や姿勢の準備運動としてよい。また現在使用していて児童が楽しく行っている。(低学年)</p> <p>○1年は、「はらい」のなぞりも追加されていてよい。(1年p6～7)</p> <p>○1年は、結び「ま・す」の学び方がわかりやすい表記・色になっている。(1年p16～17)</p> <p>○毛筆を硬筆に生かすことができるように工夫されている。(6年p18)</p>	<p>○QRコード(動画)で、自分で書く時の様子やポイントを確かめることができる。(硬筆は両利き用有)(全学年)</p> <p>○各学年他教科との関連を考えた様式の見本があり発展的学習ができる。(日記、連絡帳、観察カード、ポスター、インタビュー、メモ、理科実験、原稿用紙、ノート、手紙、はがき、6年生を送る会、書写展覧会等)(全学年)</p>	<p>○学習指導要領での指導内容や児童につけたい力が『書写のかぎ』として示され、児童、授業者にわかりやすい。</p> <p>○既に児童に定着している「とん・すう・びた」といった擬音で表す学習が継続されており使いやすい。</p> <p>○紙面がすっきりしていて、見やすく注目するところがよくわかる。</p>
F	<p>○毛筆の準備片づけは別ページで、指導しやすい。(3～6年)</p> <p>○ふりかえりが記入できる。(全学年)</p>	<p>○「学習の進め方」で学習展開がよくわかる。(全学年)</p> <p>○目次は、見通しをもち取り組めるように構成してある。(全学年)</p>	<p>○毛筆学習の理由や文字や歴史についてよく記述されている。(6年p23)</p> <p>○キャラクターの動きにより、穂先の進め方がわかりやすい。(全学年)</p>	<p>○基本的なことについての動画がある。(墨の含ませ方、もちかた)(3～4年)</p> <p>○「よしせいのかいことば」が覚えやすくて良い。(全学年)</p>	<p>○学びリンクで授業に役立つ動画や資料を見ることができる。(全学年)</p> <p>○各学年他教科との関連を考えた様式の見本があり発展的学習ができる。(観察カード、日記、年賀状、発表資料、作品カード、新聞、ポスター、リーフレット、インタビュー、メモ、ノート、卒業制作)(全学年)</p>	<p>○他教科との関連を考えた様式が豊富にある。</p> <p>○学習の進め方が示してあり、児童も教師も見通しをもって取り組めるように工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

書写 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
I	<p>○全学年 B5 判で、1年と3年にはスタートブックを付け、イラストや写真や動画を多用しながら、新しい学びについて分かりやすく説明している。(1年 P1～13・3年 P1～13)</p> <p>○「たいせつ」では、学習のポイントを端的かつ視覚的に示し、巻末にもまとめることにより、学習の焦点化と系統性への工夫がなされている。(2年 P32～33)</p> <p>○線が太くて書きやすく、児童が書きやすくなるような工夫がなされている。(1年 P10)</p>	<p>○文字や文を比較し、どちらが良いかを考える教材では、「理由も合わせて考えよう」と投げかけている。(5年P6, 6年P10)</p> <p>○6年「書写ブック」では、小学校で学んだ内容を確認、学習や日常で主体的に生かせるように工夫されている。(6年P22～27)</p>	<p>○猫のキャラクターによって、点画や筆遣いなどの課題解決のヒントが示され、児童が親しみを持ちながら主体的に学べるよう工夫されている。(1年 P32, 2年P10, 3年 P16, 5年P14)</p> <p>○「私の文字」では、著名人の文字とメッセージを紹介し、自分の文字を肯定的に捉えて学ぶ意欲につながるよう工夫されている。(6年P44)</p>	<p>○「しよしゃたいそう」や「せいりたいそう」により、書写の際の集中や姿勢の大切さを捉えられるように工夫されている。(1年P4～5)</p> <p>○「やってみよう」では、地域を題材とした教材を設け、読み手を意識して書写の学びを活用することができるように配慮されている。(4年P30～31)</p>	<p>○国語科との関連だけではなく、インタビューのメモの取り方やまとめの学習との関連を図ることができるように工夫されている。(4年 P40)</p> <p>○「よこ書きの書き方」や「手紙の書き方」、「連絡帳の書き方」など、実生活との関連を図ることができるように工夫されている。(3年 P24・27, 2年 P21)</p>	<p>○全学年とも1ページあたりの情報量を少なくし、ポイントを絞って説明をしている。(1年 P18・2年 P12)</p> <p>○学習の進め方を「考えよう」「確かめよう」「生かそう」に絞り、児童が主体的に取り組めるように工夫されている。(3年 P30)</p> <p>○4年で SDGs に関連した情報をとりあげている。(4年 P21)</p> <p>○「ねらい」と「学習の進め方」を下部にまとめて示し、学習の流れやポイントを児童も教師も具体的に捉えることができるように工夫されている。(5年 P10)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

社会 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
A	<p>○5年, 6年が分冊となっていて, 児童が持ち運ぶ際の負担が少ない。</p> <p>○字体が読みやすく, 文章と資料のバランスも良いので, 全体的にすっきりとしている。また, 重要語句は太字ゴシックで強調されている。</p> <p>○キーワード解説が比較的多く, 丁寧なされているので, 児童が理解しやすい。</p>	<p>○つかむ→調べる→まとめる→いかすという問題解決的な学習を促す流れが明確になっている。</p> <p>○まとめの学習に書き込みができる欄があり, 言語活動の充実が図られている。</p> <p>○4年:p108~先人の取組で取り上げた通潤橋は先頃国宝指定され, 今も残っているので興味を持ちやすい。橋の写真も分かりやすくなっている。</p> <p>○6年: 歴史で同和問題学習に関する記述が充実している。(6カ所確認)</p>	<p>○馴染みのあるキャラクターを活用して, 社会科の見方・考え方を意識しながら興味づけを図っている。</p> <p>○3年:p124~129で, 市の交通・土地・施設の移り変わりを3枚の地図で比較できるようにしている。</p> <p>○4年:p12~都道府県のシルエットクイズで興味付けを図っている。</p> <p>○5年: 上p13で領土の端の島が大きい写真で説明付きで紹介されている。</p> <p>○6年: 政治学習の導入が分かりやすいイラストで示されている。</p>	<p>○4年:p128・129に国宝松江城が見開きで詳しく紹介されている。</p> <p>○5年: 上p14に領土をめぐる問題として竹島が取り上げられている。</p> <p>○5年: 上p102~持続可能な水産業(養殖業)が詳しく記載されている。</p> <p>○6年: 歴史p58に雪舟が島根県を訪れたこと, p73に秀吉の財力を支えた石見銀山(写真付き)が紹介されている。</p>	<p>○QRコードから, 動画でのより詳しい</p> <p>○○さんの話や独自のコンテンツ(都道府県カルタ等)を視聴することができ, 家庭学習にも活用ができる。またワークシートもそのまま学習に利用できる。</p> <p>○「まなびのポイント」や「まなびコーナー」を生かすことで, 児童が発展的に学習を進めやすくなっている。</p>	<p>○全学年を通して教科書が読みやすく, キーワードが大切にされている。</p> <p>○QRコードの資料が豊富で, 多様な学習展開を行いやすい。児童にとっても, より深く学ぼうとする意欲を育むことができる。</p> <p>○4~6年で本県に関わる資料が多数取り入れられている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

社会 No. 2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	(感性をはぐくむ要素を含む)
F	<p>○文字がUDデジタル教科書体で配慮されている。</p> <p>○大切な言葉はキーワードとして別に書き抜かれ、学習のまとめではキーワードを振り返るように記されている。</p> <p>○「学びの手引き」として、地図・表・グラフなどの資料を使ってどんな活動をすればよいかが表示されている。</p>	<p>○単元の最初に、学習活動の流れを具体的に示している。</p> <p>○キャラクターに車椅子の子、外国とのつながりがあると思われる子を取り入れ、多様性を大切にしている。</p> <p>○登場人物の会話で学習が展開しており、親しみやすく、考える視点や気づきのモデルとなっている。</p> <p>○6年：歴史で同和問題学習に関する記述が充実している。(6カ所確認)</p> <p>○6年：歴史学習の中の白黒写真が数多くカラー化されている。</p>	<p>○QRコードからユーチューブやドリルアプリ、関連するサイトにアクセスすることができる。</p> <p>○「～さんの話」として実際の人物の話が写真付きで紹介されていて、人々の思いがしっかりと伝わってくる。</p> <p>○5年：p224・225白神山地の見開き写真で、森林の素晴らしさがしっかりと伝わってくる。</p> <p>○6年：p76・77日本列島歴史の旅で歴史学習の動機付けが図られている。</p> <p>○6年：p8～政治学習の導入に一昨年東京オリ・パラの内容が扱われていて、親しみを持ちやすい。</p> <p>○見学をしている写真で児童がタブレットで写真をとる様子があり、ICTの活用を促している。</p>	<p>○巻頭で、社会科で使う見方・考え方をキーワードで分かりやすく説明している。</p> <p>○5年：p18竹島と尖閣諸島で1ページを使って詳しい説明をしている。</p> <p>○6年：p44松江市のコミュニティバスの取組が写真付きで紹介されている。</p> <p>○6年：p137石見銀山が写真付きで紹介されている。</p>	<p>○3年：p132QRコードから入ると昔の道具についてユーチューブ動画でくわしい説明を聞くことができ、調べ学習に活用できる。</p> <p>○単元の終わりにSDGsとの関連を考える記述があり、意識化を図っている。</p> <p>○「もっと知りたい」で、各単元に関する発展的な内容が取り上げられており、自主学習、家庭学習に活用することができる。</p>	<p>○全体的に社会科の特性を大切にされた紙面構成になっていて、一貫性がある。</p> <p>○多様性、SDGsなど現代の課題が意識されている。</p> <p>○実際の人物の生の声が伝わってきて、人々の思いを感じ取ることができる。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

社会 No. 3

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	(感性をはぐくむ要素を含む)
L	<p>○文字が全体に大きく、文章量が少な目で、読む負担も少ない。ルビも多くふってある。</p> <p>○大切なキーワードの説明が丁寧なされている。</p> <p>○見開きで1時間という構成で問題解決学習が進められるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末に、その学年でつけるべき力の振り返り、次学年で学ぶ内容が示されている。</p> <p>○「オンライン授業」「Wi-Fi」など現代の用語を積極的に取り入れている。</p> <p>○3年:p128市の昔と今の様子を見開きの大きな写真で比較している。(他社はイラスト)</p> <p>○6年:同和問題学習に関する記事がコラムで紹介されている。(6カ所確認)山田少年→山田孝野次郎</p> <p>○6年:巻末に自分年表を作る欄があり、歴史の学習と自分たちとのつながりが意識できるようにしてある。</p>	<p>○SDGsシールが全学年にあり、意識化がしやすい。またSDGsに関わる記事が多い。</p> <p>○3年:p98～103消防車や消防隊員の仕事について写真を使い、かなり詳しく紹介している。</p> <p>○4年:p8QRコードから都道府県のすごろくゲームに入ることができる。</p> <p>○4年:p80災害の写真を大きく表示し、インパクトを与えている。</p> <p>○5年:情報産業の例でアイスクリームと気象のつながりが取り上げられていて、児童の興味を引きやすい。</p>	<p>○5年:p18竹島の写真を大きく取り上げている。</p> <p>○6年:p81に風土記の例として、出雲国風土記が写真付きで紹介されている。また、p94に奈良時代の木簡として、隠岐国から鳥賊が朝廷に納められたことが紹介されている。</p>	<p>○深め合う活動の進め方がイラストを使ってイメージしやすくしてある。</p> <p>○QRコードの資料が豊富で活用しやすくなっており、深い学びや家庭学習の充実へとつながる。また個別最適化の学びを意識したコンテンツの充実も図られている。(NHK for schoolへのリンクもある。)</p>	<p>○SDGsとの関係性を強く打ち出し、学習全体を通して意識できるように工夫されている。</p> <p>○QRコードを活用して発展的に深く学べるようになっている。</p> <p>○深め合う活動を促す構成となっていて、主体的・対話的で深い学びが進められるよう意識されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

地図 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
A	<p>○A 4版、全102ページの構成で、全体的に写真が多く、また大きく見やすい構成になっている。</p> <p>○紙面上切れている地図がどのページにつながっているのか示してある。</p> <p>○地図のきまりや地図帳の使い方が、全8ページにわたりマンガ仕立てで構成してあり、地図に親しみやすくなっている。(P7 - 14)</p> <p>○「日本とそのまわり」では、東西南北の端が詳しく説明されている。(P15 - 16)</p> <p>○「日本の都道府県の統計」では、色分けされており、文字が見やすく表示されている。(P83 - 84)</p>	<p>○自分の物差しを当てはめて距離を測ることができるよう縮尺が工夫されている。</p> <p>○日本の産業について、自動車工場、製鉄所、高速道路等、1つ1つ丁寧に示されている。(P73 - 74)</p> <p>○日本の歴史について、世界とのかかわりを地図と合わせてあり分かりやすい。(P77 - 80)</p> <p>○島根県の竹島、沖縄県の尖閣諸島は固有の領土であることが、それぞれの地図のページで明記されている。</p>	<p>○キャラクター(先生、児童)が学習の手がかりを示し、学びをサポートしている。</p> <p>○「ホップステップジャンプ」の3段階の問題があり、ゲーム感覚で取り組むことができるようになっている。</p> <p>○土地の高さが陰影をなくした明るい色合いで表現されている。</p> <p>○UDフォントを使用しており、全ての人にとって読みやすくなっている。</p> <p>○北海道のアイヌ語地名による由来が示されている。(P52)</p> <p>○地球儀の使い方が大きな写真を使って説明されており、見て分かりやすい。(P53 - 54)</p> <p>○世界の動物や料理が写真で示されている。(P60, 62)</p> <p>○日本と世界の川について長さや幅が、湖については面積と深さが示されている。(P68)</p> <p>○日本の伝統文化や世界遺産、特色ある食文化を地図上に示してある。(P81 - 82)</p>	<p>○竹島を中国地方のページで取り扱っている。写真や解説とともに掲載されている。(P25)</p> <p>○輸出・輸入について、相手国や地域についても示されている。(P75)</p> <p>○日本の自然災害について、地震はプレートの境界線を記載して関連付けている。また、台風や豪雨等の被害についても示されている。(P97 - 99)</p>	<p>○「ホップステップジャンプ」の「問い」は、考えを深める問題となっている。</p> <p>○全37ヶ所配置されている二次元コードを開くと、クイズや動画(ドローン動画やアニメーション動画)のPDFデータ等授業に役立つコンテンツや調べ学習に役立つウェブページへのリンク等、多彩なコンテンツのメニューが用意されている。</p> <p>○他教科と関連付けられるように、方位磁針の使い方や料理、外国語、著名な人物が記載されている。</p> <p>○索引の使い方が国語辞典のように五十音順に並べられており、3年で学習する国語辞典の使い方との関連が図られている。(P87 - 96)</p>	<p>○領土問題についてそれぞれのページで明記されているので、領土問題を意識し、正しい認識を持つことができる。</p> <p>○イラストや写真、キャラクターなどを多く用いて、児童の興味・関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツを豊富に用いてあり、興味・関心を高め発展的に学習に取り組めるように工夫されている。</p>
<p>○地図は情報量が多く、色鮮やかで学習に向かう意欲につながる。</p> <p>○巻末の資料地図や統計データが見やすく、充実していて学習に活用しやすい。</p>						

選 定 に 必 要 な 資 料

地図 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
J	<p>○A4判、132ページの構成で、全体的に大きく書いてある。</p> <p>○初めて地図帳を使う3年生のために、見やすく、簡単な地図表現をしたり、地図の特徴や見方、約束等、詳しく掲載したりして分かりやすくしている。(P1 - 30)</p> <p>○「広く見わたす地図」(160万分の1)では、主な道路や線路を目立たせているため交通による地域間のつながり、海岸線や河川をより太く示しており見やすい。(P22 - 30)</p> <p>○日本の領土とそのまわりが広範囲で示されている。(P31 - 32)</p> <p>○都市部の拡大図が多い。(P49 - 54, 61, 71 - 73)</p>	<p>○自分の物差しを当てはめて距離を測ることができるよう縮尺が工夫されている。</p> <p>○「洪水への備え」では、濃尾平野の輪中について、詳しく示している。(P60)</p> <p>○「自動車産業のさかんな愛知県」では、自動車産業について、製造の工程や流通を読み取ることができる。(P61)</p> <p>○「江戸時代の結びつき」では、歴史地名や歴史事項を記載している。(P55 - 56)</p> <p>○この他にも、歴史に関する資料が掲載されている。(P69 - 70, 109 - 110, 127)</p> <p>○アメリカ合衆国の地図に州の名前が記載されている。(P93 - 94)</p>	<p>○都市名や自然地域名称にはUDフォントを使用したり、文字の視認性を高めるため、白色のフチをつけたりしている。</p> <p>○キャラクター(先生、児童)が学習の手がかりを示し、学びをサポートしている。</p> <p>○「地図マスターへの道」という問題が3段階で全100問掲載されており、問題に関する社会科の学習内容(例:5年 工業)も示されているため、興味をもって取り組むことにつながる。</p> <p>○北海道のアイヌ語地名による由来が地図上に示されている。(P78)</p> <p>○地球儀の使い方が写真を使って説明されており、見て分かりやすい。(P81 - 82)</p> <p>○世界地図のページでは、そのページに記載されている国の簡単なデータや生活の様子が写真付きで示されていて、外国への興味関心につながる。(P83 - 94)</p>	<p>○竹島を中国地方のページとともに、「日本の領土とそのまわり」の中で日本固有の領土として取り上げ、写真と解説を踏まえながら紹介している。(P31 - 32)</p> <p>○日本の自然災害と防災では、過去の災害事例と災害を防ぐ工夫の2つの項目についてまとめてあり、災害について学び備えることの大切さを示している。(防災への取組、防災マップづくりなど)(P99 - 102)</p> <p>○日本の貿易に関連付け、イラスト付きで「日本の食料問題」、「世界の食糧問題」を説明している。(P108)</p> <p>○自然の様子や産業の資料図が豊富にあり、図も見やすく工夫されている。(P95 - 98, P103 - 106)</p>	<p>○デジタル端末に対応したアニメーションによる解説やクイズ、動画やVR画像等、631のQRコンテンツが用意してある。その中には47都道府県地図や自然・産業、自然災害、歴史や世界遺産、SDGs等もある。</p> <p>○SDGsの取組について世界の課題への取組について示してあり、世界のページには「世界のSDGs」が紹介されている。(P125 - 126)</p> <p>○他教科と関連付けられるように、方位磁針の使い方や料理、外国語、著名な人物が記載されている。</p> <p>○索引の使い方が国語辞典のように五十音順に並べられおり、3年で学習する国語辞典の使い方との関連がはかられている。(P19, 115 - 123)</p>	<p>○日本の領土のページには東端、西端、南端、北端だけでなく、固有の領土についてもまとめられているので、領土問題を意識し、正しい認識を持つことができる。</p> <p>○囲み地図が設けられており、その地域の産業やくらしの様子についてより理解が深まるように工夫されている。</p> <p>○多くのページにおいてキャラクターが、課題の提供や学習方法を示し、問題解決的な学習や自主学習を促すような工夫がされている。</p> <p>○デジタルコンテンツが豊富に用いてあり、興味・関心を高め発展的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○各学年の学習内容に沿った資料が豊富に取り入れられている。</p>
<p>○初めて地図を活用する3年生にとって分かりやすく、地図に親しんだり興味関心を高めたりする工夫や配慮がされている。</p> <p>○ページ数も多く資料が豊富で、「日本の統計」「世界の統計」など、表やグラフなどの工夫もあり、調べ学習などに活用できる。</p> <p>○3年生～6年生まで、それぞれの学習に合わせた使い方ができるようになっている。</p>						

選 定 に 必 要 な 資 料

算数 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
A	<p>○1年生の入門期の2単元をA4の冊子形式にしてある。入学後すぐの児童にとって扱いやすい工夫がされている。</p> <p>○単元に合わせてページ下の色分けがしてある。2年生以上はページが上に示してあるなど、児童が指示を捉えやすい工夫がしてある。</p> <p>○6年以外は、2冊構成となっており、薄いので書き込みやすい。</p> <p>○高学年の教科書は、一つの課題に対する問いが多く、様々な思考を促すようになっている。</p> <p>○高学年でも書き込むところが多い。【例】6年「割合の表し方を調べよう」、5年「変わり方を調べよう」</p> <p>○学び合いを意識した時間を設定し、流れを示してスムーズに学び合いができるようにしている。(5年上P21)</p>	<p>○教科書の上でブロック操作ができるような絵が描いてあったり→で示してあったりして、数学的活動が教科書でできるよう工夫されている。(1年上p2, 4, 20)</p> <p>○習熟に時間を要する内容について2つの単元に分けて段階的に取り扱っている。(3年上P106/下P64)</p> <p>○データ活用領域単元を早めに扱い、様々な問題解決に生かせるようにしている。(4年上P20)</p> <p>○巻頭に「学びのとびら」を設定し、多様な答えの問題を設定することで、授業開きで学び合う楽しさを実感できるようにしている。(2年以上)</p> <p>○単元末に「たしかめよう」、2年以上の巻末に「ほじゅうの問題」があり、個に応じて取り組めるようになっている。</p>	<p>○大きくサクランボの図を取り入れ、数の合成・分解の関係が捉えやすい。(1年)</p> <p>○図やイラストは、色が濃く分かりやすい。</p> <p>○高学年でも図や絵、写真(5年割合等)が多用されており、配慮を要する児童に親しみがもてる。</p> <p>○問題を作り発展させる展開になっている。(3年P44～50)</p> <p>○活用の場面を充実させ必然性のある場面設定になっている。(5年下P23・P24)</p> <p>○「わり算の世界を広げよう」など単元名の付け方が学習意欲を高めようと工夫してある。</p> <p>○「?」→「まとめ」の流れになっており、1時間で学ぶことがわかりやすい。(2年以上)</p>	<p>○教科書のはじめに「学びのとびら」「マイノート」を設定することで、児童が算数にひきつけられるつくりになっている。(2年以上)</p> <p>○問題に使われる数字や場面などに生活の中にあるものを取り上げている。(ランチのセットメニューや体育の場面等)</p> <p>○「算数で読み解こう」のコーナーでは、防災、環境問題など今日的な課題に対して算数を活用して考えるページがある。(4年生以上)</p>	<p>○最終単元として「算数卒業旅行」を設け数学のいろいろな世界を体験させることで、中学校へのスムーズな移行ができるよう工夫されている。(6年下)</p> <p>○Dマークで詳しい動画や練習問題へアクセスすることができ家庭学習での予習復習に役立つようになっている。(全学年)</p> <p>○プログラミング教育につながる内容がある。(4年生以上)</p> <p>○キャリア教育との関連を図り、世界レベルで活躍する方のお話や多様な職業の方の作品を掲載している。</p>	<p>○意欲を持たせるような内容構成である。特に1年生の入門期に使用しやすい内容構成になっている。また、卒業を控える児童の実態に合わせて工夫されている。</p> <p>○基礎基本的な問題だけでなく、学び合いの中での言語活動の充実を図ったり、思考力や表現力を生かしたりする内容が入れられている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
B	<p>○上下巻ではなく、1冊にまとめられており、年間を通して、復習がしやすく、見通しがもちやすい。(2~6年)</p> <p>○「問題をつかもう」→「自分で考えよう」→「学び合おう」→「まとめよう・つかってみよう」という「算数の学び方」が示されていて、学び方がイメージしやすくなっている。 (各学年はじめ辺りのページ例) 2年6ページ)</p> <p>○1年生には別冊のスタートブックがある。直接書き込んだり、ブロックを置いたりすることによって、抵抗なくスムーズに学習ができるようにしている。(1年1)</p>	<p>○3年生のわり算の単元が「わり算」「あまりのあるわり算」と続いている。(3年P88)</p> <p>○単元ごとに「じっくり深く学び合おう」のページを設定している。(3年P95)</p>	<p>○「ふくろう先生なるほど算数教室」により、算数の歴史や算数と生活や社会との関連についてふれ、興味・関心を高められるようにしている。(5年p216「江戸時代の高度な数学」)</p> <p>○新しい単元になった時の導入のページで実生活との関連を図っている。漫画なども取り入れ、興味関心をもって学習に入れるようにしている。 (5年p43「小数のかけ算」→「2.3mのリボンを買うと、代金は?」)</p> <p>○「めあて」→「課題」→「発見! 考え方」という構成になっており、児童の主体的な学習態度を喚起している。</p>	<p>○巻頭の「算数の大切な考え方」のコーナーで、考え方を系統的に捉えることができるようにしている。さらに、「発見! 考え方」と巻末シールとも連携している。(5年P10)</p> <p>○4年生以上では、「数直線の書き方」のページを設け、数直線の書き方を示している。(4年P272)</p> <p>○全学年に「プログラミングに挑戦せよ!」のコーナーがあり、すべての学年でプログラミングに触れることができるようにしている。</p>	<p>○「算数たまたまばこ」で発展的な話題に触れることができるようにしてある。(2年P80)</p> <p>○巻末に「プラスワン問題」があり、早く解き終わったときや、もう少し練習したいなと思ったときなどの発展問題が充実している。</p> <p>○「中学校ではこんなことを学ぼうよ」のコーナーを設け、中学校数学への関心を高め、スムーズな移行ができるよう工夫されている。(6年P252)</p>	<p>○学び合いによって考えを深め合う時間が各単元で設定されている。</p> <p>○考え方を系統的にまとめていくことを大切にし、シールなどを活用して工夫してまとめることができるようにしている。</p> <p>○他教科や実生活との関連を図るコーナーが充実しており、算数の学びを授業だけでなく、様々な場面に生かしていくことを大切にしている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数 No. 3

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
D	<p>○文字数が少なく、シンプルでわかりやすい。</p> <p>○「別冊：中学校へのかけはし」によって、小学校の学習の復習を確実にし、中学校での数学につなげるようにしている。</p> <p>○2, 3, 4年生は上下に分かれており、開きやすく作業がしやすい。</p> <p>○時間ごとの「めあて」と「まとめ」がはっきりしていてわかりやすい。</p> <p>○表や写真、図が大きく、見やすく、理解しやすくなっている。</p>	<p>○単元の導入が生活に即したものになっていて、興味をもつことができるようにしている。</p> <p>○単元の導入のページが漫画で描かれていて分かりやすい。(6年p44)</p> <p>○基礎基本の計算力を確実につけるようになっていく。</p>	<p>○「ノート名人」のコーナーでノートの使い方を扱い、意欲的にノート作りをしたくなるつくりになっている。(3年上p6)</p> <p>○「考え方モンスター」で算数的な考え方を系統的に扱っている。</p> <p>○「なるほど算数」で生活に即した課題を扱っている。(6年P23)</p> <p>○本時の終わりに次の時間の問いがあり、意欲を継続できるようにしている。</p>	<p>○全学年に「プログラミングのプ」のコーナーがあり、すべての学年でプログラミングに触れることができるようにしている。</p> <p>○「算数を使って」でSDGs絡めた課題を扱っている。(3年下p146)</p> <p>○QRコードでコンテンツが充実している。</p> <p>○4年生以上に「図や表を使って問題を考えよう」のコーナーを設けて、表や線分図の活用の仕方をおさえている。(6年P58)</p> <p>○「算数パトロール隊」で、よくある間違いを紹介し、注意点についておさえている。(6年P123)</p>	<p>○「もっと算数」で補充問題が充実している。</p> <p>○単元末に「できるようになったこと」「学びをいかそう」「考え方モンスターでふりかえろう」で発展的にまとめができるようにしている。(全学年)</p> <p>○「ふりかえろう、つなげよう」のコーナーを設け、既習事項と本単元とをつなげた課題に取り組むことができるようにしている。(6年P102)</p>	<p>○内容が焦点化されており、基礎基本の定着を図ることができやすい。</p> <p>○6年間の学びの系統性を意識して「見方・考え方」を設定している。「考え方モンスター」というキャラクターを用い、親しみやすい工夫をしている。</p> <p>○別冊をもうけて、卒業を控え6年生の復習や中学校へつなげるための工夫がされている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数 No. 4

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
F	<p>○学習のまとまりごとに「課題→ステップ→話し合い→まとめ→たしかめ→練習」という展開で構成してあり学習の流れがわかりやすい。</p> <p>○全体に説明が少なく、吹き出しで児童の思考を促すよう展開になっており、わかりやすい。</p> <p>○おさえない知識については動画コンテンツで補っている。(6年P79)</p> <p>○「つながるミカタ」で、既習事項を活用できるようにしている。(6年P31)</p> <p>○その日に学習した「たしかめ」の計算問題の量が4問程度でちょうどよい。</p> <p>○単元末のまとめや学んだことを確認している。(5年P59-60)</p> <p>○写真や絵が多く使われていて、色の統一感もある。紙面にゆとりもあり、学習課題がわかりやすい。(1年上p96, 138)</p>	<p>○生活科と関連付けた写真が多く使われている。(1年)</p> <p>○「だったら」「なるほど」など児童の思考を促す吹き出しが対話につながる。</p> <p>○各単元のまとめで誤答しやすい問題を意図的に取り上げている。(4年上P91)</p> <p>○巻末の「学びマップ」で、既習した見方・考え方や知識等を一覧にして活用できるようにしている。(2年以上)</p> <p>○2年以上の巻末に「ステップアップ算数」があり、個に応じて取り組めるようになっている。</p> <p>○誤答と正答を比較して話し合う学習や様々な解答を出して考え、思考を深める学習など、問題によってみんなで考える場面が工夫されている。(5年p134/p51)</p> <p>○関連しているページを示すことによって、児童が既習のページに戻ったり、発展問題のページに進んだりできるようにしている。</p>	<p>○単元の導入では、生活とつながることを取り上げて、算数のおもしろさに触れている。(5年p101 3年P79)</p> <p>○単元のまとめに4コマ漫画でポイントがまとめてあり、わかりやすい。(2年以上)</p> <p>○演習問題「たしかめ」にマークで評価できる。(2年以上)</p> <p>○「広がる算数」ではQRコードによる説明がある。</p> <p>○「まなびリンク」では、学習に役立つ情報を見ることができる。</p>	<p>○巻頭「みんなで算数をはじめよう！」で問題解決の進め方を学ぶことができる。(2年以上)</p> <p>○問題に使われる数字や場面などが生活の中にあるものを取り上げている。</p> <p>○プログラミング(1・2年)や、表計算(3年以上)に挑戦できる。</p> <p>○「学びの手引き」で算数用具の扱いや数直線の書き方などを復習できる。動画には左きき用、右きき用がある。</p>	<p>○巻末に自分で取り組むページと明記しており、「ステップアップ算数」で家庭学習に取り組めるようにしてある。(2年以上)</p> <p>○「算数ワールド」では、発展的な内容を扱ったりしており、家庭学習で活用できる。(6年P54/5年P256)</p> <p>○「学年のまとめ」で1年間の復習ができる。</p>	<p>○紙面に余裕があり、見やすく、わかりやすい。</p> <p>○意欲を持たせるような内容構成である。算数へ関心をもたせる工夫や調べ学習へつなげる工夫が多い。</p> <p>○ふりかえりや学習したことの確認に重点が置いてあるため、つまずきのおさらいがしやすい。</p> <p>○基礎基本的な内容と発展的な内容のバランスがよく、様々な児童に対応できる工夫がされている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数 No. 5

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
K	<p>○1年生の始めに、書き込み式で、ノートを使う必要がない「すたあとぶっく」がある。入門期の1年生にとって、数字などの内容に取り組みやすくなっている。</p> <p>○巻末に「さくいん」があり、学んだ算数用語をしっかりとおさえてある。</p> <p>○学年始めに「算数の学習の進め方」で算数の学び方が示されていて、学び方がイメージしやすくなっている。 (5年P4-5)</p> <p>○図やイラストが多く、吹き出しで児童の思考を促すよう展開になっており、視覚的にわかりやすい工夫がされている。(4年上P19)</p>	<p>○「算数ノートをつくろう」のページがあり、ノート指導に活用できる。(3年上p8)</p> <p>○「！」でつまずきやすい問題を示している。</p> <p>○「見積もりをつかって」というコーナーがあり、数の感覚を育てることを意識している。(4年上p96-97)</p> <p>○定期的に「復習」のページを設け、既習事項の復習ができるようにしている。(4年上P100-101)</p>	<p>○1年生以上に「算数の自由研究」というページがある。(4年上p98-99)</p> <p>○「めあて」「まとめ」が明確に示してあり、分かりやすい。</p> <p>○単元を貫くめあてが明確に設定されている。</p> <p>○QRコードに授業の解説動画を視聴でき、自分で学ぶことができる。</p> <p>○単元のまとめである「たしかめよう」では、QRコードでヒント・答えがついている。</p> <p>○「算数ポケット」で算数の豆知識が充実している。</p> <p>○単元の導入のページでイラストを使って単元を通しての課題を捉えることができるようにしている。(5年P157)</p>	<p>○3年生以上に「わくわくSDGS」というページがあり、算数科の視点からSDGSについて考えていけるようにしている。(5年p244「エネルギーを使いすぎているかな?」)</p> <p>○全学年に「わくわくプログラミング」のコーナーがあり、すべての学年でプログラミングに触れることができるようになっている。</p>	<p>○単元末の「学びのまとめ」では「たしかめよう」「ふりかえろう」「学びをいかそう、やってみよう」の流れで単元のまとめができるようにしている。(4年上P94-95)</p> <p>○巻末の「もうすぐ〇年生」で学年の総復習ができるようにしてある。</p> <p>○「学びのポケット」では発展的な話題を取り上げている。(5年P163)</p> <p>○「学びのサポート」が巻末に設定してあり、「じゅんび」「練習」「答え」「学びをつなげよう」など、場面に応じてふりかえりができるように工夫してある。(5年p253)</p>	<p>○図やイラストが多く、視覚的にわかりやすい工夫がされている。</p> <p>○動画コンテンツが充実しており、用途に応じて使い分けができる。教科書の流れにそった解説動画もあり、動画を視聴しながら、自分で学習を進めることも可能である。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数 No. 6

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
L	<p>○1年生の導入期は小冊子になっていて、お話形式で学習を進めることができる。</p> <p>○1年生は書き込み形式になっていて取り組みやすい。</p> <p>○巻末に「索引」があり、算数用語をしっかりとおさえてある。「索引」には英語もふつてある。(6年P294)</p> <p>○時間ごとに「めあて」と「まとめ」がはっきり示してありわかりやすい。</p> <p>○5・6年生にはしおりひもがついている。</p> <p>○「さあ算数の学習を始めよう」で算数の学び方が示されていて、学び方がイメージしやすくなっている。(6年P2-5)</p>	<p>○巻末に下敷き形式の「学び方ガイド」「学びの4ステップ」があり、学び方について意識できるようにしている。。</p> <p>○「自分でみんなで」のコーナーを設定し、学び合いにつなげている。(5年p133)</p> <p>○定期的に「復習」のページを設け、既習事項の復習ができるようにしている。(5年P196-197)</p>	<p>○単元末に「使ってみよう」「わかっているかな」「たしかめよう」で段階的にふりかえりができるようにしている。</p> <p>○「なるほど算数」で算数の豆知識にふれていて、算数に興味をもてるようにしている。(6年P101)</p> <p>○「つぎの学習のために」で次単元のレディネステストができるようになっている。QRコードでヒントを見たり、答え合わせをしたりできるようにもしている。(5年P11)</p> <p>○「算数ノート」のページでノートのまとめ方を示している。</p>	<p>○全学年に「レッツプログラミング」のコーナーがあり、すべての学年でプログラミングに触れることができるようになっていて。</p> <p>○4年生以上の巻末に「よみとろう、あらわそう」のコーナーを設け、図の使い方を示している。(4年P164-165)</p>	<p>○「〇年の復習」のページがあり、該当学年の復習ができるようにしてある。さらに、「算数マイトライ」のコーナーに「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」があり、復習問題や発展問題が充実している。</p> <p>○「〇年までに学習したこと」で前学年の既習事項の確認ができるようにしている。(5年P288-289)</p> <p>○6年生の最後に「マテランドを探索しよう」「6年間のまとめ」のコーナーを設け、小学校の学習の復習ができるようにしている。</p>	<p>○シンプルなページ構成になっていて、学習の流れがわかりやすい。</p> <p>○知識・技能の基礎基本に重点を置いた構成になっている。</p> <p>○巻末問題が充実していて、発展問題や復習問題が段階的に設定されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

理科 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性, 地域の実態等への適合	5. 発展的学習, 家庭学習の工夫	
A	<p>○単元末の発展部分が児童の生活と結びつきやすい内容である。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点に立って、文字の大きさや配色が工夫されている。児童の多様な特性に対応しながら学習が進められるよう配慮されている。</p>	<p>○教科書左側に問題解決の流れが示してあり、学びの道筋を可視化できようになっている。</p> <p>○単元導入に「レッツトライ！」という名称で体験や写真を見比べたりして、問題の発見を促す構成になっている。</p> <p>○単元末に、「こんなところにも！」コーナーが設定されており、生活と学習が結びやすくなっている。</p>	<p>○写真や図が大きく、視覚面から児童の気づきを促せるよう配慮してある。</p> <p>○デジタルコンテンツが多く準備され、変化の様子などを動画で確認できるようになっている。</p> <p>○他教科との関連や児童の経験をもとに単元の導入が構成されており、児童に学びの関連性をとらえさせ主体的な問題解決を促すよう、工夫されている。</p>	<p>○5年生 p76で県内の河川、6年生 p118で県内の地層が紹介されており、児童の実際の生活と関連付けやすくなっている。</p> <p>○「のぼそう！理科の力」において各学年における問題解決の過程でめざす子どもの姿がイラストで示す工夫がみられる。</p>	<p>○デジタルコンテンツを活用した家庭学習にも対応しており、内容が充実している。</p> <p>○単元末の「ふりかえろう」で自主学習へ意欲がむかうように工夫されている。</p>	<p>○デジタルコンテンツが多く準備され、変化の様子などを適宜、動画で確認できるようになっている。また、コンテンツを活用した家庭学習にも対応できるようになっている。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点に立って、文字の大きさや配色が工夫されているとともに、学びの流れが可視化され、見通しをもちながらの学習に取り組むことができる。</p>
○個別最適な学びができるよう、授業のサポートとしてデジタルの理科ノートが準備されている。						
B	<p>○実験や結果、考察が見開きのページにまとめられており、見やすくなっている。</p> <p>○章末の問題のレイアウトが工夫されており、児童にとって見やすくなっている。</p>	<p>○問題解決の流れが色分けされており、学びの段階を把握しやすくなっている。</p> <p>○デジタルコンテンツのQRコードが教科書下に統一して掲載しており、使用しやすくなっている。</p>	<p>○当該学年の学びだけでなく、その学びが次学年でどのようにつながっていくのかを系統的に提示している。</p> <p>○単元の導入で使用する写真が大きく、児童の興味関心を高めることができる。</p> <p>○5年生 p88, 89で教科書の向きをかえて読むことで、下流の川の様子や石の大きさがわかるよう、工夫されている。</p>	<p>○マークを使い、環境や伝統、防災等との関連を意識させる工夫がある。</p> <p>○対話を通した学びが各単元で設定されており、対話的・主体的で深い学びに向かうことができる構成になっている。</p> <p>○4年生のp35において回路が写真と図によって示してあり、理解が深められるよう工夫されている。</p>	<p>○「理科のたまてばこ」「サイエンスワールド」の中で、多様な資料を提示しており、学習を発展的に振り返ることができるようになっている。</p> <p>○単元末に理科工作のコーナーがあり、理科の学びが実生活でどのように生かされているかを体感できるようになっている。</p>	<p>○ダイナミックな構図や写真を使用し、問題解決の流れや資料が分かりやすくなるよう工夫され、児童の興味関心を高められるようになっている。</p> <p>○身の回りにある材料や道具を使った実験が多く考えられており、児童が理科の学習に親しみやすくなっている。</p>
<p>○身の回りにある道具を用いて、実験・飼育・観察ができる方法を提示してある。</p> <p>○他教科との関連性を考えたり、図書館活用につなげたりするための図書資料の紹介がある。</p>						

選 定 に 必 要 な 資 料

理科 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性, 地域の実態等への適合	5. 発展的学習, 家庭学習の工夫	
D	<p>○4年生「夏の星」の単元で星座資料が充実している。</p> <p>○5年生「流れる水の働き」の単元においてスポンジを用いた実験を行うことで石が削れる様子を考えることができるよう、工夫している。</p>	<p>○5年生「ふりこの運動」の単元を学年の初めに設定し、条件制御の思考を育もうとしている。</p> <p>○道具の使い方を単元内と巻末の両方でおさえることができるよう、工夫している。</p>	<p>○興味関心をもちやすいようなキャラクターが設定されており、意欲的に学習にとりくめるよう工夫されている。</p> <p>○3・4年生で、ものづくりを通して学びに興味関心を高められるよう、工夫されている。</p>	<p>○理科モンスターを用いて働かせる考え方が単元ごとに明示されているとともに、ハートをぬめることで振り返りができるようになっている。</p> <p>○5年生「雲と天気の変化」で県内の市町村が紹介されており、児童の実際の生活と関連付けやすくなっている。</p>	<p>○プログラミング教育の視点を取り入れ、考察できるようにしている。</p> <p>○「もっと知りたい」コーナーを設け、発展した学習にも興味関心が高められるよう工夫している。</p>	<p>○理科の問題解決のかたちごとに「理科モンスター」というキャラクターを設定し、付けたい力や学び方が見やすい紙面構成になっている。</p> <p>○各学年の1年間を通した学びや身につけさせたい資質能力を意識した独自の単元配列になっている。</p>
<p>○理科室等、水でぬれる可能性がある場面での使用に配慮した紙の材質になっている。</p> <p>○各学年の問題解決における思考の重点を育まれるよう、単元配列に独自の工夫がみられる。</p>						
F	<p>○学習内容等を詳しく文章で説明しており、読解力を高める工夫がみられる。</p> <p>○学習内容をイラストで提示し、学びを一般化するための工夫がみられる。</p>	<p>○教科書の冒頭に全学年の既習事項を掲載し、科学的な学びの系統性を意識できるようになっている。</p> <p>○5年生「ふりこ」の学習が1学期に実施できるよう単元配列を行い、条件制御の思考を早い時期から育むことができる。</p>	<p>○単元導入の写真を大きくしたり、6年生p42～45では等身大の人の体の図を取り入れたりするなど、興味関心を高める工夫がみられる。</p> <p>○単元ごとに主人公を設定し、学習者が自分に置き換えて学べる工夫がある。</p>	<p>○児童が学習前と学習後の変容を児童自身が自覚できるよう、見方・考え方を働かせている具体的な姿が提示してある。</p> <p>○中学校の学習内容を示し、理科の学びの系統性やつながりを意識できるようにしている。</p>	<p>○言語活動の充実を図るため、国語科での学びを生かす場面が例示として多く掲載されている。</p> <p>○6年生p187～191でプログラミングについて、発展的な内容についても詳しく記載されている。</p>	<p>○学習前と学習後の学びを振り返り、学習前後の成長を実感できるよう、工夫している。</p> <p>○様々な分野の専門家や科学者からのメッセージが豊富に掲載されており、児童の興味関心を高めるとともに、理科の有用性を感じることができるようになっている。</p>
<p>○春に見られる生物や花などを図鑑のように提示している。</p> <p>○専門家からのメッセージなど読み物資料が多く、理科の有用性を感じることができる工夫がある。</p>						

選 定 に 必 要 な 資 料

理科 No. 3

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性, 地域の実態等への適合	5. 発展的学習, 家庭学習の工夫	(感性をはぐくむ要素を含む)
K	<p>○他教科、特に算数との関連を意識した内容が多く取り入れられている。</p> <p>○単元末の学習問題で、児童用の「スマート解説」を通して、個々の学習状況に対応できるようになっている。</p>	<p>○問題解決のための過程を分かりやすくするためレイアウトの工夫がみられる。</p> <p>○単元末に使用する道具の使い方や新たに学習した言葉がまとめて掲載されている。</p>	<p>○3年生巻末に探検シートがあり、理科学習への興味関心を高めるための工夫がある。</p> <p>○「くらしとリンク」の内容に驚きや感動といった感性を育み、理科に対する関心を高める工夫がみられる。</p> <p>○キャリア教育や環境教育に配慮した資料が厳選されている。</p>	<p>○単元末の「活用しよう」で、児童の生活にかかわる内容を取り入れ、思考力を高めるための工夫がある。</p> <p>○6年生の「水溶液の性質」を気温の関係から2学期初めに配当するなど、学年ごとに特色ある単元構成にしている。</p> <p>○6年生p148に島根半島・山陰海岸が取り上げられており、児童の実際の生活と関連付けやすくなっている。</p>	<p>○単元末の「まとめノート」で自主学習へむかえように工夫されている。</p> <p>○単元末の「くらしとリンク」を通して、発展的な学習に向かえるような工夫がある。</p>	<p>○領域にとらわれない柔軟かつ多様な発想で現代的課題に理科の学習を結び付けられるよう、配慮した構成内容になっている。</p> <p>○単元末の「まとめノート」や「スマート解説」などで個別最適な学びをサポートしている。</p>
	<p>○教科書が小さく持ち運びがしやすい。</p> <p>○STEAM教育の考え方が充実している。</p>					

選 定 に 必 要 な 資 料

生活 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
A	<p>○A4サイズの上下巻 上巻129p9単元、下巻121p9単元</p> <p>○スタートカリキュラムとして、巻頭に13pの小冊子が挟み込まれている。イラストの下部には10の姿が指導者向けに示されている。</p>	<p>○児童の取組カードの例として、絵のみ、絵と文、絵とその名前など、様々なものが示されており、実態に応じた表現が保障されている。</p> <p>○「わたしのはなをさかせたいな」など、一人一人の願いの実現を目指している。</p>	<p>○文字を大きく配置し、一文ずつ簡潔に示す工夫がされている。</p> <p>○写真が大きく、トリミングやレイアウトも工夫されており、目を引く。</p> <p>○豊富なQRコンテンツで知的好奇心を喚起し、主体的な学びにつながる。</p>	<p>○「○○しよう」という導きに続き、「○○かな。」と問いかけ、取組のねらいを明確にしている。</p> <p>○爪部分に「てをあらおう」「どろぐをたたく〜」と示し、意識化を図っている。</p> <p>○ページの右上に「○○するときのやくそく」として、安全や健康、ルール、マナーの確認を示している。</p>	<p>○「かつどうべんりちょう」として、巻末に繰り返し確認すべきことや取り組み方の具体例が詳しく示されている。</p> <p>○「もういちど」「もっとくわしく」と活動を繰り返し設定し、探究するよさや面白さを味わうことができるよう工夫されている。</p>	<p>○見出しや写真はカラフルで大きく、イラストは柔らかい色調で描かれており、児童の興味を引く。</p> <p>○「どんな」「どこに」「どうしたら」「なにが」「だれが」などの問いとイラストの吹き出しが活動を焦点化し、ねらいを明確にした取組につながる。</p>
○表現物のまとめ方や板書・掲示の例、話し合いの場の作り方などがイラストで示されており、学習者は取組の見通しとイメージを持つことができる。						
B	<p>○A4サイズの上下巻 上巻137p4単元（季節に沿った単元構成） 下巻125p6単元</p> <p>○スタートカリキュラムとして、もくじ以前に8p組み込まれている。</p> <p>○「きもちマーク」として顔のイラストを選んで塗る活動を入れ、上巻の振り返り活動へつなげている。</p>	<p>○季節の流れを生かした単元構成となっている。</p> <p>○切り取って使用できるカードや「思いや願い」「振り返り」を書き込むことができる枠がある。</p> <p>○上巻の単元は「なかよし」から「だいすき」へ、下巻は「はっけん」から「ひろがれ」へと、活動の深化・広がりを目指している。</p>	<p>○興味・関心を高めるため、ダイナミックで躍動感のある活動写真やイラストが使用されている。</p> <p>○写真を丸型や角を丸くトリミングして配置し、柔らかく印象的なレイアウトが工夫されている。</p> <p>○上巻82・83pにはモノクロの森の写真から、色や音を想像して交流する活動が仕組まれている。</p>	<p>○「学び方名人 観察名人」として、理科の基礎となる見方・考え方を育てている。</p> <p>○全国各地のまつりや郷土料理などが写真で紹介しており、地域への関心が高まる。</p> <p>○学習ボランティアや理科専科、家族との交流をイラストや吹き出しで紹介している。</p> <p>○学校外の様々な人と関わる場面が掲載されている。</p>	<p>○図鑑やインターネットに加え、「ファーブル昆虫記」など読み物の紹介もあり、読書の幅を広げたり、他教科との関連を意識したりすることができる。</p> <p>○イラストの吹き出しで「もういちど」「もっと」と繰り返し取り組むことを促している。</p>	<p>○見出しや吹き出しの文字がすべて黒に統一されており、落ち着いた印象を受ける。</p> <p>○イラストや写真に吹き出しが多用され、活動の見通しを持ったり、新たな気づきや疑問が生まれたりしやすい。</p>
○表現物のまとめ方や発表方法、板書や掲示の例、活動の場の作り方などがイラストで示されており、学習者は取組の見通しとイメージを持つことができる。						

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
D	<p>○A4より縦2cm短いサイズの上下巻で上巻136p 10単元、下巻128p 8単元</p> <p>○スタートカリキュラムを最初の単元として設定し、写真で活動が紹介されている。</p>	<p>○もくじが月カレンダーに帯で示され、年間の見通しを持つことができる。</p> <p>○イラストの「こまったな」「どうしたらいいかな」という吹き出しに、試行錯誤しながら一人一人が思いや願いを実現していくことが目指されている。</p> <p>○ページ見開きにひとつの活動が示され、見通しがもちやすい。</p>	<p>○表紙には、単元名と活動に取り組む児童の様子が写真ですごろく状にレイアウトされている。</p> <p>○活動や内容によってイラストを変え、まとまりを意識できるようになっている。</p> <p>○活動最後に「もっと～したい」の対話場面があり、次の課題へとつなげている。</p>	<p>○単元名に続き、「○○かな」「○○するよ」と児童の願いや思いから活動の内容やねらい、が明確になるよう示されている。</p> <p>○巻末の「まなびかたずかん」には、9つのまとまりで、学ぶ力を付ける技の具体例を示し、活動時に適宜参考にできるようにしてある。</p>	<p>○単元終わりに「もっと○○したいな」というコーナーが差し込まれており、興味や探究が続いていくよう写真や取組がたくさん紹介してある。</p> <p>○最終ページには、保護者向けに、教科や単元ごとのねらい、育てたい力が示されている。</p>	<p>○見出しや写真はカラフルで大きく、どのページにもイラストや挿絵が多用されている。児童の作品や表現物の例も多く、見通しを持って取り組みやすい。</p> <p>○困っている様子のイラストや吹き出しを用いて、助け合い、工夫しながら課題を解決していく過程を重視している。</p>
○「ものしりずかん」「ものしりノート」として、たくさんの野菜や花、葉、虫、鳥、おもちゃなどが写真で紹介され、育て方や飼いや、作り方などの説明も詳しく図示されている。生活を豊かにしていこうとする意欲が喚起される。						
F	<p>○A4サイズの上下巻上巻129p 9単元、下巻129p 8単元</p> <p>○スタートカリキュラムの「はじめのいっぽ」では、入学前のイラストや学校生活での写真が中心で文字が少なく、入学したばかりの1年生にとってわかりやすい。</p>	<p>○「はっけんロード」をたどりながら、導入、学習活動、振り返りと分かりやすく学習の流れをとることができる。</p> <p>○「ぐんぐんはしご」で単元ごとの振り返りができる。</p> <p>○特に重点的に育てたい力が各小単元名の前にある「サイコロ」内に示され、活動ポイントがつかみやすくなっている。</p>	<p>○単元導入の「わくわくスイッチ」でこれまでの経験を思い出し、学習のイメージをもったり、意欲を高めたりすることができる。</p>	<p>○各単元の「何を感じたかな」のページでは、様々な表現活動が示されており、伝える力を高める工夫がみられる。</p> <p>○「つたえたいな」のコーナーで生活科の学習を家庭や地域につなげている。</p>	<p>○「学びのポケット」で他教科との関連が図られている。</p> <p>○生活科で学んだ力が、3年生から始まる社会科、理科、総合、外国語活動などにつながっていることが示されている。</p> <p>○「はってん3年」コーナーでも3年生へ学びをつなげている。</p>	<p>○学び方のステップが自然に身につについて学習意欲を引き出せる工夫や構成となっている。</p> <p>○各ページに、生活科で引き出す6つの力「気づく、自分でできる、考える、伝える、挑戦する、自信をもつ」が示され、めあてをもって学習に取り組むことができる。</p>
○写真、イラスト、多様な表現活動などが工夫されている。生活科の学習を通してどんな力を引き出していきたいか分かりやすく示されている。						

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
I	<p>○A4サイズの上下巻 上巻 110p9 単元、下巻 100p9 単元、上下巻の末 には、取り外しの辞典の 分冊あり。</p> <p>○スタートカリキュラムの 「1年生がはじまるよ」 では、いろいろな様子の 子どもたちが描かれてい たり、写真がたくさん使 われていたり、文字も少 なく、工夫されている。</p>	<p>○学習活動の中で、児童 が考えを深めるための 手がかりを写真や言葉 で示してある。</p> <p>○小単元では、活動が一 覧できるように見開き 完結の構成となってお り、学習の見通しがも ちやすい。</p>	<p>○単元の導入では、ページい っぱいの大きな写真で興味が 持てるよう工夫されている。</p> <p>○「こんなことあるかもね」な どのヨシタケさんのコーナ ーでいろいろな子どもたち の様子が描かれていて、興味 をもって読んだり考えたり することができる。</p>	<p>○小単元が終わるごとに、活動 した出来事やその時の思いを 振り返る工夫があり、成長を 実感したり、次の学びにつな げたりすることができる。</p> <p>○地域の人々との交流例が具体 的に示されており、イメージ をもって地域の方と関わるこ とができる。</p>	<p>○別冊「ひろがる せいかつ じてん」が分かりやすく、 紙も丈夫で、野外でも活用 することができる。</p> <p>○単元の終わりの「楽しい毎 日につなげよう」で生活科 の学習が家庭や地域で生か されるよう示してある。</p>	<p>○ヨシタケシンスケさんのや わらかい絵や言葉が多く使用 され、絵本のように興味・関心 をもって楽しく読み進める工 夫がされている。</p> <p>○リアルな写真で意欲を引き 出す工夫もある。生活科の学 習で大切にしたい14の力が 示しており、その示された観 点を手がかりに、子どもたち が自分自身の活動を振り返る ことができる。</p>
○「せいかつ たんけんたい (はじめてがいっぱい) (はっけんんだいすき)」のタイトルからも、わくわくする気持ちが高まる。教科書を隅々まで見たり、読んだりしたくなるよう工夫されている。						
K	<p>○A4より縦4cm短い正方形 に近いサイズの上下巻で 上巻128p10単元、下巻1 28p8単元</p> <p>○巻頭にはスタートカリキ ュラムの小冊子17pがあ り、丸角やページのルビ、 写真を多く使うなどの入 門期への配慮がある。巻 末には「3年生へのステッ プブック」8pが扉とじで 挟み込まれている。</p>	<p>○「どうしよう」「どうした らいいのかな」などの吹 き出しで、試行錯誤しな がら課題解決することを 目指している。</p> <p>○ページ右上に「学びのヒ ント」や「こんなときどう しよう」「気をつけよう」 など注目すべきことが示 されている。</p> <p>○気付きの質を高めるため に多様な学習活動の例が 示されている。</p>	<p>○「わたしの○○」と一人一人 の願いの実現を目指し、花や 野菜、おもちゃの選択肢が多 く示されている。</p> <p>○「がくしゅうずかん」には、 他教科の学びを生かしたり 関連付けたりして、充実した 活動になるよう示されてい る。</p> <p>○「わくわくタイム」の単元導 入が4ページもあり、児童の 意欲や思いを高める工夫が されている。</p>	<p>○すべての単元において、「わくわ くタイム」で思いや願いを持ち、 「いきいき」と活動に取り組み、 「ぐんぐん」と交流したり発信し たりするという一連の流れが示 されている。</p> <p>○全国各地の祭りや季節行事、旬の 食材が多数紹介しており、地域へ の関心が高まる。</p> <p>○他教科のつながり分かりやすく 示されている。</p> <p>○紙面右下に「もっと○○したい な」「もういちど○○しよう」と、 興味や探究が続いていくよう仕 掛けがされている。</p>	<p>○単元のもくじに続き、「びっ くりずかん」と「がくしゅ うずかん」のもくじ、「デジ タルたんけんブック」とし てQRコードの活用の仕方 が示されている。</p> <p>○「ステップブック」で生活 科の学びが3年生以降へつ ながるように示されている</p> <p>○「ひろがるきもち」や「保護 者の皆様へ」のコーナーは、 家庭と連携して学びを支え ていくことに有効である。</p>	<p>○他教科との差別化を図った ポケット図鑑のような装丁で ある。扱いやすく持ち運びが しやすい。</p> <p>○原色を避け、柔らかな色調 の文字やイラストが用いられ ており、内容へ関心が向きや すく、すべての児童が学びや すい配慮がされている。情報 や事例は厳選され、余裕のあ るレイアウトで構成されてい る。</p> <p>○深い学びの実現に向け、導 入「わくわく」・主な活動「い きいき」・振り返り「ぐんぐん」 の3段階構成の生活科の学び のプロセスとなっている。</p>
○表現物のまとめ方や発表方法、板書や掲示の例、活動の場の作り方などがイラストで示されており、具体的な取組の見通しとイメージを持つことができる。						
○また各単元末「できるかな できたかな？」の振り返りの視点の例示が、資質・能力の3本柱で整理されており、育てたい児童の姿がイメージでき、指導と評価の手がかりになる。						

選 定 に 必 要 な 資 料

音楽 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	
F	<p>○各学年,「スキルアップ」から始まり,身体全体で音楽を楽しみながら,音楽性の向上を図ることができるよう配慮されている。</p> <p>○鑑賞・音楽づくりでは「はじめ」・「中」・「終わり」を意識したワークシートが掲載されており,音楽の構成がわかりやすく学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○鍵盤ハーモニカの導入期のページが大きくわかりやすい。繰り返し学習できる。「ド」の音だけで演奏できる曲等,苦手意識をもつ児童への配慮がなされている。</p> <p>(1年P34,35) (2年P26,27)</p> <p>○「音楽のもと」がページ上部に明確に示されており,学習のねらいが明確である。また,メモ欄に学んだ事を書き込めるようになっている。さらに,巻末には「音楽のもと」のまとめがあり,学習の振り返りができるよう,工夫されている。</p> <p>○多様な教材が掲載されており,指導者が選択しながら学習を展開することができるよう配慮されている。</p>	<p>○二次元コードが目次下部に記載されており,興味をもって調べ学習をすることができる。また,手遊びの仕方や箏の演奏が動画になっているっており,演奏の手助けとなるよう工夫されている。</p> <p>(4年P58,59)</p> <p>○鑑賞教材では,オーケストラ楽器配置や,二次元コードコードで楽器の音色を確認したりできる。(5年P.33)</p> <p>○生活の中で身近にあるアニメや映画のテーマ曲等が掲載されており,児童が興味をもって演奏できるよう工夫されている。</p> <p>(5年p.54,56)</p> <p>○巻末の「楽器図鑑」では,1,2年で使用する楽器の写真や演奏方法が載せてあり,いろいろな楽器への興味が広げられるよう工夫されている。(p.76)</p>	<p>○「日本の民ようをたずねて」では,島根県の民謡「安来節」が日本地図上に記載されており(5年P46),郷土の民謡に触れることができるよう配慮されている。</p> <p>○学びあう音楽(3年P27,43など)では,音楽を通して友達と関わりながら学習することができるよう工夫されている。</p> <p>○演奏の仕方がその都度提示してあり,苦手意識をもつ児童への配慮がなされている。</p>	<p>○「ショートタイムラーニング」に「英語の歌」「外国語の歌」「算数の歌」などがあり,教科横断的な学習につながるよう配慮されている。</p> <p>○中学校の学習内容も記述されており,発展的学習になるよう配慮されている。(5年P7)</p> <p>○英語の歌が1年から,2年生では長唄が取り扱われており,高学年の学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○目次ページに「まなびリンク」として教科書会社につながる二次元コードが記載されており,発展的学習や家庭学習につなげることができるよう工夫されている。</p>	<p>○大きい写真や見開きの写真が使われており,イメージと興味をもって学習することができるよう工夫されている。</p> <p>○音楽づくりを中心に,専門的な内容が入っており,児童の思いや願いを发展させるよう工夫されている。</p> <p>○「音楽を表すいろいろな言葉」が巻末に掲載されており,音楽を言葉で表し,伝えるための手助けとなるよう配慮されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

音楽 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点				総括	
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(感性をはぐくむ要素を含む)
H	<p>○歌唱, 合奏等, 楽曲のレベルが児童に合うように配慮されている。</p> <p>○教科書の見開き1ページをゆったり使い, 学習の流れがわかりやすい。見開きで完結できるよう, 配慮されている。</p> <p>○目次における題材名(例: 曲想の変化を感じ取る)から, 学習内容がわかりやすい。また, その題材名が前ページ左側に色分けして記載されており, 見通しをもって学習することができるよう工夫されている。</p>	<p>○「見つける」「考える」「演奏する」等のマークが学びの道しるべとなり, 児童・指導者ともに学習のねらいが明確になる。音楽が専門でない担任でも指導できるよう配慮されている。</p> <p>○全体を通じ, 2学年連続での題材配置となっている。5年と6年の旋律づくりは同様の学習内容になっており, 個からペアへ段階を踏んだ学習構成がなされている。(5年P38,39・6年P30,31)</p> <p>○3年(P59)クロックミュージックのような即興的な活動から, 音楽づくりにつなげられるよう工夫されている。</p>	<p>○二次元コードが随所に見え, 興味をもって調べ学習や練習を行うことができるよう工夫されている。</p> <p>○音楽づくりのアプリが二次元コードで入っており, 演奏の技能にかかわらず音楽をつくる楽しさを味わうことができるよう配慮されている。</p> <p>○リコーダー遊びの掲載やリコーダーの扱い方が動画で見ることができ, 苦手意識をもつ児童への配慮がなされている。</p> <p>○「心をつなぐ歌声」には, 作詞作曲者のメッセージがあり, 楽曲をより身近に感じ, 歌うことへの意欲向上につながるよう工夫されている。(5年p.9)</p>	<p>○島根県出身の演奏家が登場したり(5年p.44), 4年生では熊野大社さざれ石や裏表紙に石見神楽を取り扱ったりしており, 郷土を誇りに思う学習につながるよう配慮されている。</p> <p>○鑑賞の学習では, 感じたこと⇔気づいたことを書き込むことができ, 思考が深まるよう配慮されている。(6年P34,35)</p> <p>○新出の音楽記号をなぞる箇所があり, 書くことにより, 知識・技能の定着を図ることができるよう工夫されている。(2年p.36)</p>	<p>○全学年, 目次ページ下部に「指導者・保護者の皆様へ」として紹介文があり, 発展学習や家庭での学習につなげるよう配慮されている。</p> <p>○特集「著作権について」(6年 p.24)や「音楽のもっている力や役割」(6年p.43)では, 音楽科の学習を生涯学習につなげることができるよう工夫されている。</p> <p>○各学年を通じて, 「英語の歌」として, 英語で歌う曲が掲載されており, 教科横断的な学習ができるよう工夫されている。</p>	<p>○写真が大きく, 楽器の細部までよくわかり, 興味をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。(3年P20,21・P53)</p> <p>○題材ごとに, 歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の学習を関連づけて配列されており, 音楽を形づくっている要素を中心に総合的に学ぶように工夫されている。</p> <p>○国歌「君が代」が最後のページにある。高学年では, 国際大会における歌い方や聴き方等, マナー面の記述もあり, 国際理解につながるよう配慮されている。</p> <p>○巻頭の「〇年生の学習」で1年間の学びの見通しをもち, 巻末の「ふりかえりのページ」で学習したことを確認できるように配慮されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

図画工作 No. 1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
C	<ul style="list-style-type: none"> ○文字のフォントが児童にとって読みやすい。 ○教科書の端に、他教科との関連が詳しく文章化して明示されている。(観点やつながり) 	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてが簡潔で児童に分かりやすい。3観点をキャラクターで示したり、重点をおく観点を赤字で示したりしていて分かりやすい。 ○めあてに沿った振り返りが示されている。 ○事例や作品例がたくさん紹介されている。 ○高学年は名画が多数掲載されている。 ○彫刻刀の種類によるほりあとが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作品の作者のコメント(思い)が詳しい。 ○制作中の児童の表情がよい。写真を見れば何をどうすればよいのかがわかる。 ○使う道具が絵で示されていて分かりやすい。 ○目次と合わせて写真が載っており、児童が興味を持てる。 ○ページの表記が見やすく工夫してある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○用具の使い方が写真を使って分かりやすく説明してある。 ○今まで取り組んだことのないような題材が多い。 ○5・6年上に出雲の一式飾りが取り上げられている。 ○みんなのギャラリーに様々な地域の伝統や、アート作品が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードで教材やワークシートを教師がダウンロードできるので利用しやすい。 ○学校行事を意識した題材や、身近な地域や学校との関わりを意識した題材がある。 ○表紙裏にアーティストの言葉や作品紹介がある。キャリア教育につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書に示されためあてと振り返りがリンクしており、指導者も活用しやすい。児童にとっても端的で分かりやすい表現になっている。 ○教科書の上部に材料が示されていたり、活動の流れが写真で分かりやすく示されている。 ○3観点をキャラクターがいて、児童の思いが膨らむような問いかけをしている。
L	<ul style="list-style-type: none"> ○5・6年の上にアートカードが付録としてついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○用具の扱いが上下で明確に分かれている。 ○材料などが身近で用意がしやすく、取り組みやすいものが多い。 ○低学年で色水遊び→高学年で色水の鑑賞を扱っており、系統性がある。 ○版画の刷り方が載っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童への問いかけが造形的な見方を踏まえたものになっている。 ○写真が鮮やかで興味をひく。 ○題材名のデザインに工夫が見られる。 ○低学年の初めのページは、いろいろな作品が載っており児童の興味をひく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○用具の使い方をイラストで見やすく示してあり、指導しやすい。 ○5・6年下アートカードの活用方法が載っている。QRコードを読み取ると、端末上でカードの操作もできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードでシンキングツールが出てくる。児童が自分で書き込みができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○材料や用具の使い方のレイアウトが見やすく、指導がしやすい。 ○アートカードが付録としてついていたたり、QRコードを読み取ると、児童の端末から操作できたりと工夫が見られる。 ○QRコードの内容が豊富で、魅力的。充実している。

選 定 に 必 要 な 資 料

家庭 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1.内容、程度、分量等	2.教材の選択や構成等	3.興味・関心への工夫等	4.教科の特性、地域の実態等への適合	5.発展的学習、家庭学習の工夫	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・単元数が少なく、複式学級でも指導したり、計画がたてやすい。 ・単元がまとまっているので、実生活にいかしやすい。 (例 夏を涼しく快適にと洗濯) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動を取り入れ、言語活動の充実が図れるようにしてある。 ・考えながら製作できるように構成してある。 P87,P116等 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長の記録ページがあり、2年間での自分の成長を振り返ったり、見直しを持って学習したりできる。P6~P7 ・デジタルコンテンツのワークシートや動画がわかりやすく使いやすいので、子どもたちの興味・関心をひくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階でSDG s の取り組みが単元の中に組み込まれているので、それをいかして実践することができる。P42 ・内容によって、活動内容の数が違う。 (活動①~③、①~⑥) ・地域の中で、自分が大切な一員であるという自覚が育てられるような単元がある。P128~ 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的学習がわかりやすく、進めやすくなっている ・長期休み等に取り組みやすい。 P35,P66,P121 ・家電の中のプログラミングが紹介してあり、生活の中でいかしてあることがわかりやすく示してある。 P146,P147 	<p>発展的な学習の例が多く載っており、家庭での学習に取り組みやすくなっている。そうすることによって、実生活でいかそうとすることができると思われる。</p>
C	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの単元の内容が細かく分かれているので、その単元で何を指導するのが、明確になる。 ・教科書に直接書き込めるところが多く、使いやすい。P29,P36 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーイングの単元では、実際の大きさを示してあり、分かりやすい。 ・調理の単元では、メニューが豊富に紹介してあり、選びやすい。P25 ・具体的な資料が多く、参考になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活を支える物やお金」の単元では、買うときの考えてみる手順がフローチャート式になっており、児童の興味を引く。P60 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統のコーナーで「食文化」に触れてあり、地域の食文化に興味をもてるようにしてある。P57,P125 ・教科書の裏表紙に切り方や目盛りがあり、実習中に見てやりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生かす深めるのコーナーが生活に生かしやすい。 P33,P80~83 	<p>参考になる資料や例が豊富で、資料集としての役割と考えるととても使いやすい。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

保健 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
A	<p>○実験・実習の内容がある。(3・4年P18.22)(5・6年P16)</p> <p>○「まとめる・生かす」「解説」「まめちしき」でしっかりとしたまとめができ、知識が獲得できる。</p> <p>○多様な例示がある。</p> <p>○「深める・伝える」は思考力・判断力・表現力の育成を図るための工夫がある。交通事故の防止では、どういことが原因となるか、未知の状況にも対応している。(5・6年P27)</p> <p>○手の洗い方の実習は技能の獲得に役立つ。(3・4年P20)</p>	<p>○最初のページで今の自分と、3年生までの時の自分と比較する配慮がある。</p> <p>○「自分の気持ちや考えを上手に伝えよう」(5・6年P17)では、ロールプレイを通して、言語活動の充実を図っている。</p> <p>○「気づく・見つける。調べる・解決する。深める・伝える。まとめる・生かす。」で、学習の流れがはっきりとしている。</p>	<p>○キャラクターへの親しみが持てる。</p> <p>○イラストがとてもわかりやすく、整理されていて見やすい。(5・6年P43)</p> <p>○動画がたくさんあり、児童の学習が意欲的に主体的に行えるような工夫がある。</p> <p>○写真が効果的、多面的に工夫されている。女性を喫煙者として描いたイラスト等もあり、偏見を生みにくくしている。</p>	<p>○本時の流れ、次時での内容など触れたものがあり、身に着けたい力がはっきりしている。</p> <p>○裏表紙に各学年での学習の流れがきちんと記載されている。単元の目標が明確に示されている。</p> <p>○さまざまな自然災害についての学習が発展学習に位置付けられている。(5・6年P38)</p> <p>○熱中症やAEDの使用など、今日的な課題がある。</p>	<p>○ユニバーサルデザイン、インターネット関係などの「資料」は学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力を育てる工夫が図られている。</p> <p>○学習の流れは学習を継続的、発展的に進めていくうえでとてもよく考えられている。</p> <p>○他教科との関連が随時教科書に掲載されている。</p>	<p>○「まとめる・生かす」「解説」「まめちしき」でしっかりとしたまとめができ知識が獲得できる</p> <p>○「気づく・見つける。調べる・解決する。深める・伝える。まとめる・生かす」で学習の流れがはっきりとしている。</p> <p>○動画がたくさんあり、児童の学習が意欲的に主体的に行えるような工夫がある。</p> <p>○本時の流れ、次時での内容など触れたものがあり、身に着けたい力がはっきりしている。</p> <p>○学習の流れは学習を継続的、発展的に進めていくうえでとてもよく考えられている。</p>
	<p>・情報量が適度にあり、子供の実態に合わせて学習内容を組み立てやすい。</p> <p>・「気づく・見つける。調べる・解決する。深める・伝える。まとめる・生かす」で学習の流れがはっきりとしている。</p> <p>・「深める・伝える」は思考力・判断力・表現力の育成を図る工夫がある。</p>					
B	<p>○多様な児童が分かりやすく学習を行えるよう工夫がされている。</p> <p>○「つかもう」「話し合おう」が生き生きと働いて知識・技能また思考力・判断力の育成を図ることができる。</p> <p>○「考えよう」「活かそう」で未知の状況にも対応できる力を育てる工夫がなされている。</p>	<p>○「つかもう」「話し合おう」で言語活動の充実を図る工夫がある。</p> <p>○「つかもう」「話し合おう」「活かそう」「考えよう」「調べよう」で、学習すべきことがはっきりしている。</p> <p>○活動を通して、問題解決的な学習につながる工夫がある。</p>	<p>○キャラクターが多く、児童はとも興味を持つだろう。</p> <p>○保護者の皆さまへの部分があり、家庭での活用についても促されている。</p>	<p>○「自然災害から身を守る」が発展として位置づけられており地域の実態に合わせて考えられるようになっている。</p> <p>○「成長を祝う行事」では日本と併せ、外国にも目を向ける工夫がなされている。</p>	<p>○調べ学習の進め方で、自ら課題を見つけ学習を発展的に進めていくための工夫がなされている。</p> <p>○各学年での学習や各教科との関連がきちんと表記されている。</p>	<p>○多様な児童が分かりやすく学習を行えるよう工夫がされている。</p> <p>○「つかもう」「話し合おう」「活かそう」「考えよう」「調べよう」で、学習すべきことがはっきりしている。</p> <p>○保護者の皆さまへの部分があり、家庭での活用についても促されている。</p> <p>○「成長を祝う行事」では日本と併せ、外国にも目を向ける工夫がなされている。</p> <p>○各学年での学習や各教科との関連がきちんと表記されている。</p>
	<p>・デザイン、イラストがとてもシンプルで見やすい。</p> <p>・教科書自体の字が大きく見やすい。</p>					

選 定 に 必 要 な 資 料

保健 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
M	<p>○毎時間の学習の流れが統一されていてわかりやすい。</p> <p>○学習のめあて、活動、まとめ、実践へと学習が流れ、児童が学習しやすい。</p> <p>○教科書とノートが一体となっていて、自分の考えを記述して友達と交流できるようになっている。</p>	<p>○キャラクターのコメントで、多様な考えを例示していたり、大切なポイント押さえていたりしている。</p> <p>○写真や絵の配列が効果的に提示されており、児童の思考を助けるものとなっている。</p>	<p>○生活場면을現した多様なイラストが多くあり、児童が学習をイメージしやすく、興味を持ちやすい。</p> <p>○グラフなどの資料が充実しており、学習への意欲・関心が高まりやすい。</p> <p>○追加の資料や発展的な資料が随所にあり、児童の関心を引く。また、色分けして提示してあるので見やすい。</p>	<p>○「わたしの○○宣言」を書き込むページで、学習したことを自分の力として、生活に結び付ける工夫がなされている。</p> <p>○自然災害から地域の防災や取り組みについて考えることができるようになっている。(3・4年P36)</p>	<p>○二次元コードがたくさんあり、随時学習の補足、または児童の興味関心を引き出しやすい。</p> <p>○「もっと考えよう課」で発展的に思考していけるような場面がある。</p> <p>○「もう一歩先の自分へ」の記述欄で、学習したことをもとに、自分自身を高めるための課題を追求する工夫がなされている。</p>	<p>○「わたしの○○宣言」を書き込むページで、学習したことを自分の力として、生活に結び付ける工夫がなされている。</p> <p>○調べる、まとめる、実践を考える学習活動が統一されており、児童が学習しやすい。</p>
<p>・ 自助、共助、公助から自分と地域を結び付けて考えることができる。</p> <p>・ 「もっと考えよう課」で発展的な課題やより深い学びが展開できるよう工夫されている。</p>						
N	<p>○学び方の流れが3段階に示されており、指導者も児童も見通しをもちやすい。</p> <p>○大切な言葉が太字になっており、おさえやすい。</p>	<p>○イラスト、写真、生活の流れ等の資料中心の構成で見やすい。</p> <p>○情報量が多すぎず、焦点化して授業をしたり、児童にとって見やすかったりする。</p> <p>○自分の考えを書く欄に罫線があり、小学生にとってよい配慮である。</p>	<p>○各単元の「課題をつかもう」の段階で、自分の生活や体をふり返るところがあり、自分自身への気付きから学習をスタートすることができる。</p> <p>○QRコードを読み取り、動画を視聴するシステムを導入することで、関心を高めたり、内容の理解につながったりする。</p>	<p>○単元の間や様々なタイミングで配置されている資料をうまく活用することで、他の教科との関連を図ることができる。5年の「けがの防止」の単元で交通事故や災害から自分を守ることを学習する時に、自分の住んでいる地域との関連性を図りやすい。</p>	<p>○単元の間や様々なタイミングで、資料が配置されており、自分の日常生活をふり返ったり、実践につなげたりしやすい。</p>	<p>○学習の流れが児童にとっても指導者にとってもわかりやすい。</p> <p>○情報量・内容が適当である。</p> <p>○資料の充実により、自分の生活と結び付けやすい。</p>
<p>・ 課題把握→追求（話し合う、考える、調べる）→まとめの学習のサイクルがわかりやすい。</p> <p>・ 自分自身の生活や心身の調子等をふり返るタイミングがしっかりとあり、学習に必要感を持ちやすい。</p>						

選 定 に 必 要 な 資 料

保健 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
O	<p>○教科書とノートが一体となっており、自分の考えを記述して友達と交流できるようになっている。</p> <p>○資料や内容が精選されており、見やすい。</p> <p>○記述の枠にリーダー線が入れてあり、書きやすい配慮がなされている。</p>	<p>○毎時間学習の流れ(3つのピース)を視覚的に確認できるようになっている。</p> <p>○単元の最後に自分の言葉でまとめたり、深めたりでき、言語活動の充実を図る工夫がある。</p> <p>○学習課題に続いて、「話し合ってみましょう」「比べてみましょう」「考えを書きましょう」など学習の進め方が明確に提示されており、課題解決的な学習につながる工夫がされている。</p>	<p>○実験動画を見ることができる二次元コードがのせてあり、児童の興味を引くだけでなく分かりやすい。</p> <p>○イラストや写真が整理されていて見やすい。</p>	<p>○学習の最後に、学んだことを基に考え記述する欄があり、学びを確かめることができる。</p> <p>○「心の健康といじめ」「新型コロナウイルス感染症」「防犯・防災」「がん教育」など現代的な課題を豊富に取り上げている。</p>	<p>○「ほけんのはこ」に発展的な資料があり、児童が興味を持って学ぶ工夫がされている。</p> <p>○医学や保健の分野で活躍した人などを紹介し、学びを生かそうとする工夫がなされている。</p> <p>○各単元の扉のページに各教科との関連がまとめて書かれている。また、関連する箇所にも明記されている。</p>	<p>○単元の最後に自分の言葉でまとめたり、深めたりでき、言語活動の充実を図る工夫がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の扉がその学習をよく表しており、興味がわく。 ・発展、資料が充実している。 ・児童の予想や多様な考えから学習を行う工夫がある。 						
Q	<p>○学び方の流れが4段階に示されており、指導者も児童も見通しをもちやすい。</p>	<p>○イラスト、写真、生活の流れ等の様々な資料があつてよい。しかし、構成的にもう少しすっきりした方が児童にとって見やすい。</p> <p>○自分の考えを書く欄に罫線があり、小学生にとってよい配慮である。</p>	<p>○各単元の冒頭ページに4～5コマ漫画があり、児童の興味・関心を引きやすい。</p>	<p>○各単元に「さらに広げよう深めよう」というコーナーがある。学びを深めたり、自分の生活につなげたりするために効果的である。また、他教科との関連も図ることができるものもある。(例：5・6年P16のストレッチ→体育)</p>	<p>○各単元の最後に「学習のまとめ」で、ポイントを再確認できるように()にキーワードを記入する欄がある。自分の生活につなげやすい。</p>	<p>○各単元の「さらに広げよう深めよう」というコーナーが、学びを深めたり、自分の生活につなげたりするために効果的である。</p> <p>○情報量や構成等含めて、もう少し整理されるとよい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・課題把握→追求(話し合う、考える、調べる)→まとめの学習のサイクルがわかりやすい。 ・各単元の「さらに広げよう深めよう」というコーナーが、学びを深めたり、自分の生活につなげたりするために効果的である。 						

選 定 に 必 要 な 資 料

外国語 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
A	<p>○A4サイズのテキストで、見やすい構成となっている。</p> <p>○1ページに載っている英語の分量や内容は中学校に近い。中学校への接続が円滑になるものとなっている。</p> <p>○書き込むところが十分あり、自分の考えを反映しやすい。</p>	<p>○スピーチの素材や話題がより身近なもので、子どものしゃべりやすいものとなっている。</p> <p>○各Unitが、児童の日常生活から導き出される題材が選定されている。</p>	<p>○外国風のイラストや現代風のイラスト、多くの写真などを取り入れて、児童の関心を高める工夫がされている。</p> <p>○巻末のカードが準備され、児童の興味を高める工夫がしてある。</p>	<p>○Sounds and Letters では、各活動を楽しく行い、聞く・書く活動ができるように工夫してある。</p> <p>○Enjoy Communicationで単元に関連する表現を用いて、児童同士で話す活動に取り組めるように工夫してある。</p>	<p>○別冊のPicture Dictionary (PD) を活用して、児童が家庭学習でも外国語を学ぶことができるように工夫してある。また、英語の会話で使える表現があり、活用しやすい。</p> <p>○PDが別冊になっているので、PDを見ながら書き出すことができる。</p>	<p>○児童の知的好奇心を引き出す、教材が用意されている。</p> <p>○英語がたくさん書いてあり、英語にふれる機会が多いので中学校との接続がスムーズになる。</p> <p>○PDを活用することで、自分の表現したい英語を表現しやすくなる。</p> <p>○聞く、読む、話す、書く活動がたくさんできる。</p> <p>○主となる活動の流れが示されている。</p>
C	<p>○イラストで学習活動の様子が示され、子どもがこれから行う学習のイメージをつかみやすい。</p> <p>○CAN-DOチェックが巻末についており、1年間で何ができるようになったのかを意識しやすい。</p>	<p>○GOALが各単元に明示されており、目的意識をもって取り組める。</p> <p>○単元の終末に向けた学習の流れがつかみやすい紙面構成になっている。</p>	<p>○すっきりしたレイアウトで見やすい。</p> <p>○巻末カードが用意され、ミッションも入り子どもが扱いやすい。</p>	<p>○クラスの中で英語を使ってやりとりすることができる場面設定がされている。</p> <p>○実際にコミュニケーションを図る活動がどの単元にも豊富に設定されている。</p>	<p>○別冊Word Bookを活用して、児童が家庭学習でも外国語を学ぶことができるように工夫してある。巻末にさくいんがあって検索しやすい。</p> <p>○QRコードがついており、家庭学習で使うことができる。</p>	<p>○CAN-DOチェックなど、何ができるようになったのかを子ども自身が自覚しやすい。</p> <p>○自然な場面設定がなされ、英語を使って会話を行う必然性がある。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
E	<p>○教科書全体が3つのUnitで構成されているがUnitの中はHOP,STEP,JUMP,さらにlessonやpart1,2など細かい構成からなっている。</p>	<p>○ページにスペースがあり、見やすい</p> <p>○Unitの初めにHOPで自分のゴールを設定し、STEPで言語活動をし、JUMPで発表と振り返りをする構成。</p> <p>○5年生のUnit2以降のLet's Read and Writeに、なぞり書きや語句を選んで書き写す活動が入っている。</p>	<p>○Unit初めやHello, world!にある写真が大きく美しい。異文化への興味をそそり、学習内容のイメージがつかみやすい。</p> <p>○lesson初めのページのイラストに普段目にする物の英単語がついており、絵と文字を結び付けて理解しやすい。</p>	<p>○現代の課題であるSDGsなどの課題や他教科と関連した題材や活動が盛り込まれている。</p> <p>○発表時にタブレットで写真や動画を提示したり、児童の活動や発表を録画して見せ合ったりするような例が示されており、ICT活用の具体をイメージしやすい。</p>	<p>○Unit初めのHOPで内容やレベルの異なるモデル動画が3つあり、子供が自分のゴールをイメージしやすく、また実際に参考にして自分のスピーチにつなげられる。</p> <p>○Hello, worldでは異文化に触れるだけでなく、日本各地の名所・名物にも触れており、調べ学習から発信につなげることもできる。</p>	<p>○細かい構成からなっており、それぞれのパートや単元にゴールが設定してあるので、見通しをもって学習を進めることができる。</p> <p>○言語材料や活動内容を2学年を通してスパイラルに配置してあり、中学校からの接続と、中学校への接続を円滑にする工夫がされている。</p>
F	<p>○教科書のサイズは他社よりも小さい。</p> <p>○5年9 lesson 6年8 lesson</p> <p>○各lesson初めに単元goal、終わりに振り返り欄があり、めあてにそって学習が進められたかをチェックできる。</p> <p>○Word Bankが巻末に入っている。</p>	<p>○別冊の辞書等がなくとも各活動に合わせた豊富な語句がlesson中の第2時にあたるページに載っている。</p> <p>○lesson毎のFinal Activityでは個の活動だけでなく、グループの協働を促す活動の工夫がある。</p>	<p>○教科書のページ全体的にカラフルで、名所・名物マップ(5,6年)は眺めるだけでも楽しい。</p> <p>○各lessonの発表で使うワークシートが巻末にあり、lessonにはそのモデルが複数示されているので、どんな発表や活動をするか見通しがもちやすい。</p>	<p>○SDGs、環境教育、他教科と関連した題材や活動だけでなく、クラスの思い出アルバムなど学級経営にプラスになる活動の工夫が可能。</p> <p>○各学年で2回あるLet's look at the Worldのページでは英語が起源の外来語や災害訓練時の表現、アメリカの手話など、グローバル化社会を意識した題材を取り上げている。</p>	<p>○日本の名所・名物マップ(5年)、世界の名所・名物マップ(6年)はサイズが大きく折り込みになっており、子どもが興味をもつ内容になっている。</p> <p>○歌や動画などのコンテンツが豊富で、デジタルコンテンツの学びリンクから子どもが自ら英語の音声に触れることができる。</p>	<p>○教科書全体でユニバーサルフォントが使われていて、文字が読みやすい。</p> <p>○各lessonで発表用ワークシートを活用するようになっており、素敵な教室掲示例もあるので、児童の達成感や表現する意欲をより高めることができる。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
I	<p>○CAN-DOチェックが巻頭についており、1年間でどんなことができるようになるか、見通しをもって学習しやすい。</p> <p>○巻末に「All About Me」シートがあり、1年間の学びを書き込めるようになっており、自分の学びが可視化できるようになっている。</p>	<p>○各Unitが、1単位時間で見開き1ページの構成になっている。</p> <p>○全ページにQRコードがあり、アニメや音声をいつでも確認できるようになっている。</p> <p>○「Alphabet Time」では、文字の学習をモールステップで丁寧に行えるよう工夫されており、単語や文字の書き方もわかりやすく示されている。</p>	<p>○イラストが多めで、1ページの情報量が少ないため、取り組みやすい。</p> <p>○「まとめ」の「世界の友達」では、いろいろな国の小学生の映像を見ることができ、多様な価値観にふれることができるよう工夫されている。</p>	<p>○言語活動のページでのPlus Oneでは、既習表現を活用して会話を続ける力が育つように工夫されている。</p> <p>○Unitの最初のページの右下にある「About You」では、その単元での話題を自分のこととして主体的に考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○別冊のPicture Dictionary(PD)を活用して、児童が家庭学習でも外国語を学ぶことができるように工夫してある。また、3・4年生の学習で習った英会話やその学年で学習する表現がまとめたのっている。</p> <p>○PDの最後に英会話で使えるレスポンスがたくさんのもっている。</p>	<p>○ゴールまでの流れが見える構成になっており、見通しが持ちやすい。</p> <p>○PDを活用することで、自分の表現したい英語を表現しやすくなる。</p> <p>○児童の「伝えたい」という気持ちを引き出すような言語活動が設定されており、相手意識、目的意識をもって活動に取り組みやすい。</p>
K	<p>○1単元の内容が多くなく、余裕をもって学習できる量である。</p> <p>○Can-Do ListがUnitごとに示されている。</p> <p>○見通しをもって学習ができるように、Unitのゴールと各Stepのゴールが示されている。</p>	<p>○それぞれの活動の位置が固定化されており、同じパターンで学習できる紙面になっている。</p> <p>○巻末に「会話を楽しむフレーズ集」が用意され、あいづちや質問のフレーズが示されている。</p>	<p>○親しみやすいイラストと写真を組み合わせで使用されており、児童の興味・関心が高まる工夫がされている。</p> <p>○巻末カードが用意され、ミシン目も入っており子どもが扱いやすい。</p>	<p>○Chantでは、強く読むところに印がついており、リズムに合わせて言いやすいように工夫されている。</p> <p>○日本地図や世界地図が折り込みで入っており、いろいろな地域や国の情報を活用して言語活動ができるようになっている。</p>	<p>○QRコードを利用して、音声を聞いたりクイズに挑戦したりするなど、家庭学習でも取り組みやすい工夫がある。</p> <p>○Stepのページの右下に「Tips」があり、コミュニケーションに役立つ情報が示されている。</p>	<p>○イラストやアニメーションで単元のゴールがイメージしやすいように工夫されている。</p> <p>○コミュニケーションに大切なことが随所に示されており、相手を意識した言語活動ができるように工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

道徳 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
A	<ul style="list-style-type: none"> ○35教材+「つながる広がる」(1年34) ○五つのユニット(安心・安全、「いじめ」について、情報モラル、「いのち」について、「じぶん」について) ○道徳の学習をはじめよう ○デジタルコンテンツ(低:コンピュータ)で学びを広げよう ○学習の記録 ○教材一覧表 ○考えるためのツール 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材末に「みんなで考えたいこと」が示しており、問題意識を高める工夫がある。 ○「どんな学びをするのかな?」では、学び方の例が示してある。 ○「問題を見つけて考えよう」「演じて考えよう」では、問題解決的な学習や、体験的な学習ができるように構成されている。 ○絞り込まれた発問例が2つ(中心、ふりかえり・見つけ・生かす)示してある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「朗読音声」「スライドショー」「デジタルノート」が全教材に用意しており、デジタルコンテンツとして使用できる。児童の特性や興味関心に合わせた教材提示の工夫ができる。 ○低学年を中心に大判の写真が使われ、児童の心情に訴えるようになっている。(1年p.48,49) ○スポーツを題材とした教材→4年池江瑠花子, 6年義肢装具士 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ防止に関わる3つの「ユニット」が全学年同じ時期に配当されており、人権週間等と合わせて全校で取り組むこともできる。その他、「安全」「情報モラル」のユニットも設定されており、今日的な課題に対応している。 ○「とびらページ」を作ることで、問題意識を持たせる工夫がある。 ○動作化や役割演技で体験的に学べるような教材が各学年で設定されている。 ○SDGsに関わる教材やコラムの中に「愛華さんからのメッセージ」(6年)あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「つながる・広がる」が多数掲載。他教科等の学習活動や家庭や地域での活動で活用することも可能。情報モラル→著作権クイズ「保護者の皆様へ」一緒に考えてみてください。動画で学ぶQRコード(3年) ○「ふっかちゃんの町じまん」他のキャラクターも紹介しており、自分の県にも興味を持つきっかけづくりになる。社会科との関連(3年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○クラスの実態に応じて授業が展開できるようなシンプルな紙面構成となっている。 ○多様な考えを阻害しかねない記述を削除し、価値を押し付けず、考え・議論する道徳の実現に向けて工夫されている。
F	<ul style="list-style-type: none"> ○本教材30+補充教材5(1年4)(学校や学級の実態に合わせた教材との入れ替え可) ○とくに大切にしているテーマ(4. ユニット例参照) ○道徳で学習すること ○学び方 ○もっと広げよう(まなびリンク) ○資料 ○学習内容一覧 ○学習を振り返ろう ○一年間の学習を振り返ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○初めに導入の発問例を示し、続いて場面発問例とテーマ発問例が示してある。道徳的価値について議論が深まりやすくなるように構成されている。(キャラクター: マナビィ) ○「学習のてびき」が示しており、学びやすい構成になっている ○定番教材を各学年に4~10編採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「教材解説(人物紹介・あらすじ)」「資料」がデジタルコンテンツとして使用できる。児童の理解を深めたり、学び合いの意欲を深めたりすることに有効。 ○全学年を通じて20人の偉人や現在活躍する人物を取り上げている。多くの偉人の生き方・考え方に触れられるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年で重点テーマ(3~5)を設定し、教材+コラムの構成でユニット化している。全学年共通は「いじめ問題」「情報モラル」。その他、「生命」「伝統文化と国際理解」「自然環境」「人権問題」「感謝」のユニットも設定されており、今日的な課題に対応している。 ○現代的な課題としっかり向き合えることができるよう、SDGs、食育、防災、法、健康、キャリア、福祉を扱った教材が設定されている。 ○LGBTQへの配慮(教材・イラスト配慮)がある。 ○補充教材5は地域教材や自作教材との入れ替えが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「やってみよう」は体験的な学習に活用、「つなげよう」は発展的な学習に活用、「問題を解決しよう」は問題解決的な学習に活用することができる。 ○教材末に「まなびチェック(観点3つ)」欄があり、毎時間の学習の振り返りがしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習のてびき」が充実している。児童が考え、議論しながら考えを深めることができるような発問構成や、多様な学びができるような工夫がある。 ○役割演技を通して道徳的価値の理解が深まるようなモラルスキルトレーニング教材が各学年に設定されている。

選 定 に 必 要 な 資 料

道徳 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
I	<p>○35教材＋コラム＋考えるヒント＋感じよう命（1年34）</p> <p>○話とコラムをあわせて学習するまとまり（いじめを許さない心、情報と向き合う、自然と共に、共に生きる）</p> <p>○付録</p> <p>○目指した○年生の姿</p> <p>○学びの記録</p>	<p>○1時間の学びのイメージを持って学習に取り組むことができる構成になっている。</p> <p>・導入の発問例が示しており、児童の日常生活と教材をつなぎやすい。</p> <p>・「考えよう・話し合おう」学びのテーマや考えを深める3つの発問が示されている。（①道徳的な価値を明らかにする。②道徳的価値についての理解や自覚を深める。③自分に引きつける・テーマ的に考える。）</p> <p>○「つなげよう」①日常生活やこれまでの学びと、②他教科・領域と、③自分の在り方（人間理解）と関連付けて考えることができるような投げかけがある。</p>	<p>○デジタルコンテンツ</p> <p>・QRコードの横に「朗読」「動画」「資料」等、明記してあり分かりやすい。</p> <p>○挿絵の中に主な登場人物名が書いてあり、場面把握がしやすい。</p> <p>児童の教材理解の助けとなっている</p> <p>○3人のキャラクターの役割が明確であり、その問いかけに考えてみたくなるような仕掛けになっている。</p> <p>○教材末に思考ツールの紹介がいくつかあり、考えを視覚化して整理したり、学習内容をまとめた</p> <p>りするための助けとなっている。</p>	<p>○現代的な課題は、教材とコラムの構成でユニット化し、多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。</p> <p>・いじめ問題、情報モラル…全学年。</p> <p>・環境、共生…3～6年。</p> <p>○巻末付録には日本の伝統文化や防災活動が紹介されており、自主的な学びにつながる工夫がある。（3～6年）</p> <p>・日本に伝わる「暮らしの道具」⑦島根県石州和紙の紹介。（3年P174-175）</p> <p>○巻頭で道徳の学びの全体像をイラストで示しており、一年間の学びの見通しをもつことができる。</p> <p>・「道徳で学ぶ20のとびら」、「道徳道案内」</p> <p>○1時間の道徳の学び方が示され、主体的に学ぶことができる工夫がある。</p> <p>・第2教材下欄「どうとくの学び方」</p>	<p>○さらに深く学びたい教材にはコラムがついていて、学びを日常生活に生かしたり、他教科とつなげたりすることができるような工夫がある。</p> <p>○家庭との連携マーク→情報モラル（全学年）、心を通わそう（1～4年）</p> <p>○「感じよう いのち」→「生命の尊さ」の教材後、体験を通して考える。</p> <p>○「環境」「共生」コラム→「夏休み」「冬休みに調べてみよう」「冬休みに調べてみよう」</p> <p>○「なんだろう なんだろう」→答えが一つではない多様なテーマ</p> <p>○1時間ごとの学習の振り返りができる「学びの記録」があり、各学期や1年間を見渡して自己評価をすることができる。</p> <p>○「学びの記録シール」（1～4年）、「一行記述」（5、6年）</p>	<p>○きみがいちばんひかるとき</p> <p>○各学年表紙裏にメッセージと共通メッセージ「みんな生きてる みんなで生きてる」</p> <p>○1時間の学びのイメージを持って学習に取り組むことができる構成になっている。</p> <p>題名下のキャラクターによる投げかけにより、主体的に取り組むことができるよう配慮されている。教材末の「考えよう・話し合おう」には、学びのテーマが示さされていて学習の見通しが持てる。</p> <p>投げかけも示されていて、人間理解につながる工夫がされている。</p> <p>○思考ツールや対話スキルを活用することで、多面的・多角的に考え、協働して問題解決に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○付録「学びの道具箱」「話し合うためのコツ」「心を通わそう」「考える準備たいそう」</p> <p>○B5変型判 小さい</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

道徳 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
L	<p>○35教材+心のベンチ5(1年34)</p> <p>○(安全なくらし、人とのかわり、情報モラル、よりよい社会)</p> <p>○道徳のとびら</p> <p>○道徳の学び方</p> <p>○付録3</p> <p>○見つけた!ここにも道徳</p> <p>○SDGsで考えよう</p> <p>○学習内容一覧</p> <p>○道徳ノート別冊</p>	<p>○3つの発問で「学びの流れ」を作り、学習に取り組みやすくなるような構成になっている</p> <p>○導入の発問例が示してあり教材とつなげて考えることができる。</p> <p>○題名下のキャラクター(ココロウ)による問いかけを含めて3つの発問が示されていて、その時間の見通しが持ちやすい。「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」</p> <p>○体験的な学習や問題解決的な学習など思考を深めるための手立て例が示されている。</p> <p>○「ぐっと深める」→(1年6教材、2～6年5教材)</p>	<p>○デジタルコンテンツ</p> <p>・朗読、動画、画像、スライドショーやシンキングツールや心情メーターなどの道具箱等があり、視覚的にとらえられる工夫がされている。</p> <p>○教材のはじめにリード文と登場人物が紹介され、教材文の内容を理解しやすくなっている。</p> <p>○題名下にキャラクター(ココロウ)による問いかけがあり、教材への関心を高める工夫がされている。</p>	<p>○年間3回のいじめ防止ユニットが設定されており今日的な課題に対応している。</p> <p>○「心のベンチ」…「いじめ防止」につながる内容など、読みもの教材とは異なった角度から、児童の見方や考え方を広げる配慮。</p> <p>○巻頭に道徳の学び方が示してあり、学びのイメージを持ちやすい工夫がされている。</p> <p>・動画でも見るができる。</p> <p>・「きづく」「考える・深める」「見つめる・生かす」として整理され、全ての教材がそれに応じた発問構成となっている。</p>	<p>○学びを広げ深めるためのコラムがあり、実生活や他教科との関連が考慮されている。</p> <p>・「心のベンチ」…いじめ・情報モラル・SDGs・多文化共生・自己肯定感の5つのテーマを各学年に1点ずつ掲載。</p> <p>○別冊「道徳ノート」は、考えをまとめたり深めたりするために使えるよう工夫されている。</p> <p>・1教材1頁、上段、下段とも自由記述欄、自己評価欄(3つ)</p> <p>・学期ごとに振り返りのページ、家庭記入欄もあり。</p> <p>○ここにも道徳、SDGSで考えようの頁。</p>	<p>○生きる力</p> <p>○題名下のキャラクターによる問いかけを含めて3つの発問が示されていて、その時間の見通しが持ちやすい。</p> <p>○体験的な学習や問題解決的な学習など思考を深めるための手立て例が示されている教材があり、考えを深めるための工夫がされている。</p> <p>○別冊「道徳ノート」は、教材ごとの自由記述欄になっていて、考えをまとめたり深めたりするために使えるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への工夫等	4. 教科の特性、地域の実態等への適合	5. 発展的学習、家庭学習の工夫	
N	<p>○35教材＋コラム(1年34)</p> <p>○特に考えたいこと(命をかがやかせる、いじめを生まない心、みんなで力を合わせて、へこんでも立ちなおる力、世界中のいろいろな人とつながるために)</p> <p>○ゆたかな心</p> <p>○付録5(1年6)</p> <p>○ことばの宝物</p> <p>○教材一覧</p> <p>○学びの足あと</p>	<p>○発問例の流れの掲載→導入、展開、終末、発展。展開ではねらいに迫る中心発問と多面的・多角的に考える発問が示されている。</p> <p>○生命の尊厳・自然、人との共生、情報モラル、レジリエンス、安全・健康等現代的課題が取り上げられている。</p> <p>○「あふたあゆう」1年と「アフターユー」6年で同じ活動について視点を変え、とともに、学年をまたいで取り上げられている。</p>	<p>○教材名の下に登場人物の紹介がされており、教材の理解がしやすい。</p> <p>○デジタルコンテンツに教材に関する資料や動画、登場人物からのメッセージがあり、児童の興味関心を高めるようにされている。</p> <p>○一枚絵(1年p10-11)、迫力のある写真(1年p152-153)、漫画形式(3年p116-119)、実話に基づく教材(4年p140-143)で児童の興味・関心が高まるよう工夫されている。</p>	<p>○重点主題として、全学年に「いじめ防止」「生命尊重」、学年独自主題として「人間」「人間関係」に関わる内容を1つ重点主題とし、多面的・多角的に深く考えられるよう、複数時間構成で扱われている。</p> <p>○「シンボルマークに込められたものは」で島根県の県章が取り上げられ、地域への関心を高めている。(5年p.48)</p>	<p>○「レジリエンスコラム」を全学年設け、子ども自身が自分のよさや可能性を認識し、自己肯定感を高められるようにしている。(5年p.148)</p> <p>○巻末「学びのあしあと」で①毎時間の振り返り、②まとめ、③なりたい自分、各学期の振り返りを記録することで、課題や目標を見つけて学習に取り組めるようにされている。</p> <p>○教材末の「ひろげよう」では、道徳科で学んだことを日常生活や他教科へ広げられるような問いかけがされている。</p>	<p>○各学年「いじめ防止」「生命尊重」の重点主題と設定され、「人間」「人間関係」を主とした独自主題が設定され、また、多面的・多角的に考えることができるよう複数教材が設定されている。</p> <p>○巻頭の「ゆたかな心」では、見通しをもって学ぶことができ、また、学習内容や学習の流れが分かりやすく示され、主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。</p>
O	<p>○35教材＋心のパスポート＋深めよう＋私たちと情報(1年34)</p> <p>○(未来に向かって、かがやかせよう命、共に生きる)</p> <p>○つながるわたし広がる私</p> <p>○心について(低中高別タイトル)</p> <p>○道徳の時間が始まるよ</p> <p>○つなげよう広げよう</p> <p>○教材と主題名、デジタルコンテンツ</p>	<p>○本文以前に、キーフレーズのみが提示され、児童の問題意識を尊重し、学習が展開できるよう配慮されている。</p> <p>○教材の最後に「考えよう」では、道徳的価値について考える発問と自己を振り返る発問に絞られ、授業時間に合った数、内容となっている。</p> <p>○人物を扱った教材が多く、様々な人物の生き方から考えを深めることができるようにしている。</p>	<p>○42人の様々な人物の生き方から学ぶ人物教材が用意され、児童が興味・関心をもって取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○デジタルコンテンツで写真やクイズ、動画などがあり、関心を高めやすい。</p>	<p>○最重要テーマは「いのち」と設定され、他に「多様性」「キャリア」を合わせた3つのテーマがユニット構成され、多面的、多角的に考えを深めることができるようになっている。</p> <p>○内容項目「生命の尊さ」は全学年3つの教材で扱われ、繰り返し指導されるようになっている。</p> <p>○「ないものはない」(4年p76)で隠岐郡海士町が取り上げられ、身近な島根の良さに気づくことができるような教材がある。</p>	<p>○特設ページ「心のパスポート」では、日常生活や他教科との関連など様々な視点から多様な学びができるように工夫されている。</p> <p>○特設ページ「インターネットを使うときは」では、「家の人と話し合おう」という投げかけがあり、家庭と連携しやすいように工夫されている(3年p133)</p> <p>○巻末の「つなげよう ひろげよう」では、学年末の振り返りとともに、次学年への意欲づけができるよう工夫されている。</p>	<p>○最重要テーマを「いのち」とし、「いのちユニット」では、異なる内容項目の教材を組み合わせ多面的・多角的に考えを深めることができるように配慮されている。</p>